

第4期高知県がん対策推進計画の進捗状況報告資料

高知県	1
高知大学医学部附属病院	7
高知県・高知市病院企業団立高知医療センター	13
県立幡多けんみん病院	18
県立あき総合病院	23
国立病院機構高知病院	28
高知赤十字病院	33
公益社団法人高知県看護協会	38
公益財団法人高知県総合保健協会	40
高知県訪問看護連絡協議会	42
高知県理学療法士協会	43
高知県医師会	44
高知県歯科医師会	46
高知県薬剤師会	48
高知県介護支援専門員連絡協議会	50
高知県ホームヘルパー連絡協議会	51

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野

高知県

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56) (R3)	男性166.32、女性97.10 (全国平均 男性151.23、女性92.96) (R6)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少
がん種別5年生存率	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	—	向上
年齢調整罹患率	387.2(2019年値)	386.9(2021年値)	A	減少
20歳以上の喫煙率	男性27.0%、女性6.4%	男性27.0%、女性6.4% (R4)	—	男性20%以下、女性5%以下
受動喫煙の機会を有する人の割合	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、飲食店(月1回以上)9.6%	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、飲食店(月1回以上)9.6% (R4)	—	家庭(ほぼ毎日)3%以下、職場(月1回以上)10%以下、飲食店(月1回以上)4.8%以下
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人	男性16.8%、女性9.6%	男性16.8%、女性9.6% (R4)	—	男性15%以下、女性7%以下
運動習慣者の割合	20～64歳 男性25.5%、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7%	20～64歳 男性25.5%、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7% (R4)	—	20～64歳 男性30%以上、女性30%以上 65歳以上 男性62%以上、女性50%以上
野菜摂取量(1日当たり)	274g	274g (R4)	—	350g以上
肝炎検査の受検者数	B型1,477人、C型1,471人	B型1,415人、C型1,397人 (R6)	B	増加
肝炎陽性者の精密検査受診率	77.8%	77.8%(R4)	—	90%以上
HPVワクチン接種率	29.9%(R3)	82.7%(R6)※	A	全国平均を超える

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

※令和4年度以降については、令和元年10月3日付け「ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種実施状況に関する調査について(依頼)」(厚生労働省健康局健康課事務連絡)の調査より算出

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんの死亡率が減少する ■がんの罹患率が減少する ・危険因子となる生活習慣が改善している ・がんの原因となる感染症が抑制されている	禁煙希望者に禁煙してもらおう	・たばこ対策専門部会の開催 (R7.12.23) ・世界禁煙デー・禁煙週間にポスター掲示、高知城ライトアップによる啓発 ・「高知家健康チャレンジ」による禁煙の呼びかけを実施 ・とさ禁煙サポーター養成講座及びとさ禁煙サポーターフォローアップ研修会の開催(養成講座：R7.9.20、フォローアップR8.3.1予定) ・健康づくりひとくちメモでの啓発 禁煙年5回放送	《課題》 ・喫煙率は減少しているものの目標達成に至っていない。 《今後の取組》 ・禁煙支援に携わる医療従事者の養成やフォローアップを行うなど、喫煙をやめたい人がやめることができる環境づくりを推進する。 ・令和8年度から、「禁煙」分野の広報、啓発を高知家健康チャレンジからたばこ対策事業での単独実施に移行する。
	生活習慣の改善に向けた取組を進める	・「高知家健康チャレンジ」において、5つの分野「減塩、野菜摂取、運動、節酒、禁煙」に、新たに「朝食摂取の定着化」を加え啓発を実施 ・ウォーキングイベント等の開催(延べ14,444名参加 4回開催：1月中旬時点) ・健康づくりひとくちメモでの啓発：飲酒3回、運動6回、栄養8回(1月末時点)	《課題》 ・飲酒、運動、野菜摂取量等の指標は目標を達成していない。 《今後の取組》 ・引き続き総合的な啓発を実施することでよりよい生活習慣の定着を図る。
	感染に起因するがん対策を進める	・肝炎治療の助成(受給者証交付数 11月末現在) ・インターフェロンフリー治療20件、核酸アナログ製剤治療360件 ・肝炎医療コーディネーターの養成 ・新規養成研修会の開催 23名養成(9/17) ・フォローアップ研修会の開催 54名出席(11/26) ・HPVワクチン啓発資料配布 ・定期接種対象者向けチラシを県内公立・私立学校等に配布(161校13,000枚)	《課題》 ・検査実施機関により、肝炎陽性者の精密検査受診率が目標に達していない。 ・HPVワクチン接種率は全国並に上昇しているものの年度により変動がある。 《今後の取組》 ・各市町村・職域検診実施機関等に肝炎検査陽性時の対応について、継続して周知を行う。 ・がん対策と併せたHPVワクチンの啓発・周知を行い、接種率の向上を図る。
	学校教育におけるがん教育を進める	・がん教育外部講師派遣事業の実施 60校(全60回)派遣予定 ・高知県がん教育推進協議会の開催 1回(11/10)	《課題》 ・外部講師の派遣に関する地域差 《今後の取組》 ・関係機関と連携しながら、引き続き外部講師派遣体制を充実させていく。 ・地域差に関する課題の分析と課題解決に向けた取組の実施。 ・指導用教材のアップデートと活用の充実を図る。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野

高知県

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)【再掲】	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56) (R3)	男性166.32、女性97.10 (全国平均 男性151.23、女性92.96) (R6)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少
がん種別5年生存率【再掲】	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	-	向上
年齢調整罹患率【再掲】	387.2(2019年値)	386.9(2021年値)	A	減少
がん検診の受診率 (40~50歳代)	肺59.2%、胃41.6%、大腸46.6%、 子宮頸47.4%、乳51.7%	肺61.4%、胃40.1%、大腸49.1%、 子宮頸50.1%、乳52.4% (R6)	D	60%以上
がん検診の精密検査受診率 (地域)	肺90.4%、胃91.7%、大腸84.6%、 子宮頸80.0%、乳96.6% (R2)	肺92.3%、胃90.7%、大腸84.3%、 子宮頸77.9%、乳93.6% (R4)	B	90%以上
がん検診の精密検査受診率 (地域・職域)	肺71.4%、胃62.0%、大腸56.6%、 子宮頸57.7%、乳89.9%	肺65.0%、胃61.8%、大腸58.8%、 子宮頸62.1%、乳93.1% (R6)	D	90%以上
市町村チェックリスト実施率	肺90.9%、胃90.5%、大腸89.4%、 子宮頸90.3%、乳90.9%	肺88.7%、胃88.4%、大腸88.3%、 子宮頸89.4%、乳88.8% (R6)	B	向上
がん発見率	肺0.04%、胃0.05%、大腸0.11%、 子宮頸0.02%、乳0.29%	肺0.04%、胃0.06%、大腸0.12%、 子宮頸0.02%、乳0.35% (R6)	B	向上
陽性反応の中度	肺3.11%、胃2.02%、大腸2.76%、 子宮頸1.9%、乳7.1%	肺2.99%、胃2.9%、大腸2.72%、 子宮頸1.6%、乳9.2% (R6)	D	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんの死亡率が減少する</p> <p>■がんの罹患率が減少する</p> <p>・科学的かつ効率的な受診 勧奨を行い、検診受診率が 増加している</p> <p>・精度の高いがん検診が 実施されている</p>	がん検診の受診を推進する	<ul style="list-style-type: none"> がん検診受診促進事業(市町村補助金)29市町村を支援 検診の個別通知・再勧奨・精密検査未受診者への受診勧奨など がんポータルサイト「こうちがんサポネット」の開設 職域向けの受診啓発動画及び受診啓発マニュアルを作成 居住地以外の市町村でも受診可能な広域検診の実施 夜間 3日(10/31-11/14) 土日 5日(2/11-2/28) より身近な場所で受診機会を設けるコンビニ検診※の実施 3日(4/22香南市、10/10高知市、11/13須崎市) テレビCM 80本(9月、10月、1月)、WEB・SNS広告(9-10月)、新聞広告掲載 <p>※県と包括協定を締結しているコンビニエンスストアの駐車場を活用した市町村検診</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> がん検診の受診率の目標値に、肺以外の検診が到達できていない。 「こうちがんサポネット」の認知度が不足している。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> がん検診の受診率向上について、市町村検診の利便性向上、デジタル化を推進。 「こうちがんサポネット」の周知及び機能の充実。
	がん検診の精度向上を進める	<ul style="list-style-type: none"> 精密検査未受診者への受診勧奨実施 精密検査実施公表医療機関 胃:40医療機関、大腸:34医療機関、 肺:12医療機関、子宮頸:13医療機関、乳:12医療機関(R7.10月時点) 高知県健康診査管理指導協議会の開催 協議会1回開催 部会4回(肺、胃・大腸、子宮、乳)開催 子宮頸がん検診ワーキンググループ 2回 がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況 (R7精度管理調査、集団(内視鏡のみ個別)) A(基準を全て満たしている):肺2、胃(X線)3、胃(内視鏡)2、大腸4、子宮2、乳3 B(基準の一部を満たしていない):肺25、胃(X線)26、胃(内視鏡)25、大腸25、子宮25、乳24 C(基準を相当程度満たしていない):肺3、胃(X線)1、胃(内視鏡)3、大腸1、子宮2、乳0 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 精度管理調査結果について、基準を相当程度満たしていない市町村が一部ある。 職域における精密検査受診率が低い。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 精度管理調査の結果、改善が必要と認められる場合は、市町村に検診実施方法の改善を働きかける。 「こうちがんサポネット」に掲載している職域向けの啓発資材や、精密検査実施医療機関が検索できる機能の周知を図る。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

高知県

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2%(R5)	67.2%(R7)	B	向上
手術療法実施件数	3,464件 (R3)	3,744件 (R5)	A	増加
放射線療法実施件数	1,105件 (R3)	1,110件 (R5)	B	増加
薬物療法(外来化学療法)実施件数	21,947件 (R3)	-	-	増加

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられている</p>	<p>拠点病院等の機能充実が図られる</p>	<ul style="list-style-type: none"> がん診療連携拠点病院等機能強化事業 補助先:高知医療センター・県立幡多けんみん病院・県立あき総合病院 各拠点病院等の治療実績等を「こうちがんサポネット」へ掲載(R7年度中を予定) 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央保健医療圏に拠点病院が集中していることから、周辺圏域の医療機関との機能に応じた役割分担と連携体制の強化が必要。 県民がどこに住んでいても適切な診断や治療にスムーズにアクセスできる体制確保が必要。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> がん診療連携拠点病院機能強化事業等で、拠点病院の機能強化にかかる取り組みの支援。 「こうちがんサポネット」の周知を強化し、治療実績等の掲載データを充実していく。
	<p>標準的な治療(手術療法・放射線療法・薬物療法)が、質が高く安全に実施されている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 手術療法と薬物療法はすべての二次保健医療圏で提供 放射線療法は中央及び幡多医療圏に集約 がん治療を受けられる医療機関一覧を「こうちがんサポネット」へ掲載(R7.10月) 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術療法、放射線療法、薬物療法、緩和ケア、口腔ケア等がん医療に専門的に関わる医療従事者の確保・育成の促進が必要。 がん診療連携拠点病院等を中心に、高齢化や生産年齢人口の減少が進む2040年を見据えた持続可能ながん医療提供体制の構築が必要。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 「中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラム」等を通じて、がん診療連携拠点病院等において、がん医療に専門的に関わる医療従事者の確保・育成。 2040年を見据えたがん医療提供体制について、都道府県がん診療連携拠点病院を中心に、均てん化・集約化に向けた議論をすすめる。
	<p>チーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多職種によるカンファレンスを月1回以上開催するがん診療連携拠点病院等がん診療連携拠点病院等 4機関 (R7現況報告) 高知県がん診療連携推進病院 1機関 (R6現況報告 (R7現況報告はR8.2月実施予定)) 院内歯科のない病院に対して、「高知県歯と口の健康づくり実態調査」を通じ、がん治療における医科歯科連携の重要性について周知啓発を行った(58病院)。 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 質の高いがん医療を提供するため、全拠点病院等における多職種によるチーム医療の推進が必要。 手術期における口腔ケアの推進が必要。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 拠点病院等とともに、拠点病院等におけるチーム医療の提供体制の整備を進める。 医療従事者に対して、がん治療における医科歯科連携の必要性について研修等を行う等、一層の啓発を行う。また、院内歯科のない病院に対して、「高知県におけるがん診療に関わる医科歯科連携マニュアル」の再周知を図る。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

高知県

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満 C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加	D 数値目標の達成率 70%未満 — 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている	診断時からの適切な緩和ケアが受けられる	<ul style="list-style-type: none"> がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会数1,197人(R7.12月時点) 県内のがん治療に関するセカンドオピニオンに対応可能な医療機関数17機関(R5医療機関がん診療体制調査(今回はR8年度実施)) 緩和ケアを実施すべき時期について「がんと診断されたときから」と回答した患者の割合:29.2% 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> がん医療に携わる医療従事者が基本的な緩和ケアを正しく理解し、知識等を習得することで、緩和ケアが診断時から適切に提供されるよう、継続して研修会を実施することが必要。 患者・医療従事者を含む県民に対し、緩和ケアに関する正しい知識の更なる普及啓発に取り組むことが必要。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、がん医療に携わる医療従事者が基本的な緩和ケアを実践し、その知識や技能を維持・向上できるように、研修会を開催する。 全保健医療圏で緩和ケアに関する研修を修了した医療従事者を増加させるため、引き続き研修の周知に努める。 「こうちがんサポネット」やサポートブック等を活用し、緩和ケアの普及啓発を引き続き推進する。
	在宅療養支援を進める	<ul style="list-style-type: none"> がん患者への訪問看護を行っている施設数 21施設(安芸2、中央16、高幡2、幡多1)(R5) がん患者への訪問診療を行っている施設数 34施設(安芸3、中央24、高幡5、幡多2)(R5)(R5医療機関がん診療体制調査(今回はR8年度実施)) 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪問看護、訪問診療ともに中央保健医療圏に集中しており、がん患者が希望する場所で療養支援ができるように、在宅移行支援などの連携体制が必要。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅緩和ケアに関する研修会を開催する。
	生殖機能温存療法及びがん治療後の生殖補助医療が十分に行われている	<ul style="list-style-type: none"> 妊よう性温存治療費助成件数(R7.12月時点) 胚凍結1件、未受精卵凍結4件、精子凍結5件 妊よう性温存治療費補助金の啓発用リーフレットを拠点病院等へ配布 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊よう性温存治療費補助金の情報発信や指定医療機関の拡大が必要。 妊よう性温存治療及びがん治療後の生殖補助医療に関する情報提供及び意思決定支援を行う体制の整備。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊よう性温存治療費補助金の啓発用リーフレットの作成。 地域がん・生殖医療ネットワークにおいて適切な支援や治療提供のため、連携体制を強化する。
	小児がん患者に対して支援が十分に行われている	<ul style="list-style-type: none"> 小児がん中国・四国ネットワーク会議へ参加7回(R7.12月時点)(高知大学医学部附属病院及び高知医療センター医師が参加) 小児慢性特定疾病対策事業での悪性新生物の認定件数 31件(R7.10月時点) 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児・AYA世代のがん患者に対する支援体制の整備が必要。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 若年がん患者の在宅療養に係る費用の助成。 小児がん中国・四国ネットワークに参加している高知大学医学部附属病院、高知医療センターを中心として、小児がん拠点病院である広島大学病院をはじめとした同ネットワーク参加病院と症例を共有しつつ、連携の強化に努める。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

3 共生分野

高知県

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	52.6% (R7)	S	向上
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者で役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	73.6% (R7)	B	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる</p>	<p>がんの相談支援を受けられる</p>	<p>・拠点病院等の相談窓口における相談件数 (R7.12月末時点) 高知大学医学部附属病院640件 (面談324件 電話309件 その他7件) 高知医療センター 902件 (面談645件 電話256件 その他1件) 幡多けんみん病院 352件 (面談274件 電話71件 その他7件) あき総合病院 408件 (面談359件 電話49件 その他0件) 高知赤十字病院 308件 (面談263件 電話45件 その他0件) 国立病院機構高知病院 343件 (面談300件 電話43件 その他0件) がん相談センターこうち 241件 (面談110件 電話125件 その他6件) 7機関計 3,194件</p> <p>・がんサロンの開催件数 95件 (予定件数) (R7.12月末時点)</p> <p>・がんサポートブック改訂版 5,500部</p> <p>・がん相談窓口紹介カード デザイン等改訂 6,100枚</p> <p>・がん相談窓口紹介ポスター デザイン等改訂 415枚</p> <p>・がんポータルサイトトップページにがん相談窓口やがんサポートブックを掲載</p> <p>・がんピア・サポーター実地研修 (模擬サロン): 候補者6名、医療者6名</p> <p>・がんピア・サポーター実地研修 (がんサロンへ参加): R7.12月～</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん患者等が必要な時に相談窓口につながり、課題が解決できるようがん相談支援センター等のより一層の周知が必要。 ・がん患者及び家族の悩みや負担を軽減するために、同じ経験を持つ者による相談支援や情報提供が受けられるがんピア・サポーターの養成及び活動が必要。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん相談窓口やがんサロン、がんの療養情報等がん患者に必要な情報を掲載した「こうちがんサポネット」の周知を強化し、内容を充実していく。 ・がんピア・サポート活動を開始。
	<p>治療と仕事の両立支援を進める</p>	<p>・「高知県地域両立支援推進チーム」連絡会議 高知労働局主催 (R7.12月時点)</p> <p>・ハローワークとがん診療連携拠点病院等の連携による出張相談 (就労支援ナビゲーター1名)</p> <p>・がんポータルサイトへ新たに両立支援に関する情報や相談窓口等を掲載した「治療と仕事」のページを作成。</p> <p>・治療と仕事の両立支援に関する動画及びマニュアルを作成し、「こうちがんサポネット」へ掲載。</p> <p>・アピアランスケア支援事業実施市町村16市町村 (R7.12月末)</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん患者が診断時から治療と仕事を両立させるための情報提供や相談支援を受けることのできる体制整備が必要。 ・事業のニーズが把握できていない、マンパワー不足等からアピアランスケア支援事業を実施している市町村が少ない。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、患者等へ「こうちがんサポネット」や作成資材等を活用し情報共有するとともに、職場における制度の導入やがん患者への理解等について事業所へ啓発していく。 ・制度及び現状をがん治療実施医療機関へ情報共有し、現場のニーズを市町村へフィードバックする。

第4期 高知県がん対策推進計画における各関係機関の取組状況

4 基盤分野

高知県

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2%(R7)	B	向上	S 数値目標の達成率 110%以上
					A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
MI比	0.39(2019年値)	0.40(2021年値)	-	0.5以下	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
DCO	1.1(2019年値)	1.6(2021年値)	-	10%以下	D 数値目標の達成率 70%未満
					- 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・全国がん登録の精度を高めることができる</p>	<p>がん登録届出体制の整備を推進する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国がん登録におけるがん登録届出対象医療機関数161医療機関 ・全国がん登録の利用件数2件(R7.11月) ・がん登録推進事業 委託先:国立大学法人高知大学 ・遡り調査 2022、2023年データについて実施 ・全国がん登録における指定診療所数(歯科診療含む)42施設 ・冊子「高知県のがん登録2021年集計」報告書作成 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して精度の高い全国がん登録届出体制の整備が必要。 ・県民がどこに住んでいても適切な診断や治療にスムーズにアクセスできる体制確保が必要。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国がん登録事業を着実に実行する。 ・がん登録等により得られたがんの罹患状況や治療実績等に関する情報を活用し、「こうちがんサポネット」に掲載している治療実績等の掲載データを充実していく。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56) (R3)	男性166.32、女性97.10 (全国平均 男性151.23、女性92.96) (R6)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少
がん種別5年生存率	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	—	向上
年齢調整罹患率	387.2(2019年値)	386.9(2021年値)	A	減少
20歳以上の喫煙率	男性27.0%、女性6.4%	男性27.0%、女性6.4% (R4)	—	男性20%以下、女性5%以下
受動喫煙の機会を有する人の割合	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6%	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6% (R4)	—	家庭(ほぼ毎日)3%以下、職場(月1回以上) 10%以下、飲食店(月1回以上)4.8%以下
生活習慣病のリスクを高める量を 飲酒している人	男性16.8%、女性9.6%	男性16.8%、女性9.6% (R4)	—	男性15%以下、女性7%以下
運動習慣者の割合	20～64歳 男性25.5、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7%	20～64歳 男性25.5、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7% (R4)	—	20～64歳 男性30%以上、女性30%以上 65歳以上 男性62%以上、女性50%以上
野菜摂取量(1日当たり)	274g	274g (R4)	—	350g以上
肝炎検査の受検者数	B型1,477人、C型1,471人	B型1,415人、C型1,397人 (R6)	B	増加
肝炎陽性者の精密検査受診率	77.8%	77.8%(R4)	—	90%以上
HPVワクチン接種率	29.9%(R3)	82.7%(R6)※	A	全国平均を超える

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

※令和4年度以降については、令和元年10月3日付け「ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種実施状況に関する調査について(依頼)」(厚生労働省健康局健康課事務連絡)の調査より算出

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんの死亡率が減少する ■がんの罹患率が減少する ・危険因子となる生活習慣が改善している ・がんの原因となる感染症が抑制されている	感染に起因するがん対策を進める	・妊産婦に対し、必要な検査を実施。産後も検査の重要性を指導している。	《課題》 ・患者への啓発不足。感染とがん関連について知識が不十分で、予防意識が浸透していない。 《今後の取組》 ・感染とがん関係や予防の重要性を市民公開講座で周知する。
	学校教育におけるがん教育を進める	・高知県がん教育推進協議会に参加 がん教育のための外部講師として11校へ延べ16人(8名が担当)派遣 ・がん公開講座等を県内の高知市2校、南国市5校、香美市1校、 香南市2校、土佐市1校で計11回開催 ・子宮頸がん予防に関する意識を高めるため、 R6年度作成の啓発動画を、がん教育を実施する際に活用している。	《課題》 ・高知県の地域的特性により、遠隔地での学校では、対面でのがん教育を実施することが、難しい場合がある。 《今後の取組》 ・オンライン形式を活用し、すべての学校で一貫した教育内容を提供できる体制を整えることが重要。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

拠点病院等
高知大学医学部附属病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
手術療法実施件数	3,464件 (R3)	3,744件 (R5)	A	増加
放射線療法実施件数	1,105件 (R3)	1,110件 (R5)	B	増加
薬物療法(外来化学療法)実施件数	21,947件 (R3)	-	-	増加

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられている</p>	<p>拠点病院等の機能充実が図られる</p>	<p>【放射線部会】 ①放射線治療部会の開催 ①で立案したPDCAサイクルをもとに、放射線治療の集約化・均てん化を検討、2040年に向けた県内の体制整備を行い、県民が安心して放射線治療がうけられる仕組み作りを中心に取り組んでいる。 ②講演会 ・第5回放射線治療部会 講演会「医療者の知らない放射線治療の世界～緩和照射/緊急照射編～(広島市民病院 放射線治療科 松浦寛司先生)」(11/11開催) 参加者84名(現地+Web開催) ・第6回放射線治療部会 市民公開講座「知って安心!最新の骨転移治療 高知県でできること」(2/28開催予定) 【緩和ケア部会】 ■緩和ケアチーム専門委員会 ①座談会～緩和ケアチームにおける困りごと ～vol.5(WEB) 8名参加 ②第5回緩和ケアチーム専門委員会研修会「緩和ケアチーム情報交換会」 現地26名+WEB2名参加 ■緩和ケア病棟専門委員会 ①令和7年度 緩和ケア病棟専門委員会 相互訪問(8/15、10/2、10/9、10/22、10/31、11/7)県内6施設の緩和ケア病棟から看護師2名ずつが相互訪問を実施 ②2/9(WEB)情報共有・交換会を実施予定 ■在宅緩和ケア専門委員会 ①第8回多職種で考える地域連携緩和ケア研修会(10/26)参加人数64人 ②第9回多職種で考える地域連携緩和ケア研修会(2/8開催予定) ■緩和ケア部会 ①第1回会議6/9(WEB) 【がん相談】 高知大学医学部附属病院がん相談支援センター ・がん専門相談員研修「QA研修(事例検討)」を2026/2/7に開催予定。 ・四国ブロック会主催での「QA研修」を2025/9/6、11/11に参加した。 【がん薬物療法部会】 ①がん薬物療法部会3回開催(8/22・12/15開催済み、年度内メール会議開催予定) ②がん薬物療法部会講演会2回/年(8/22・11/8) 参加者:98名[現地47・WEB51] ③がん薬物療法看護WG会議7回開催(6/14・8/16・8/29・9/5・11/2・12/10・2/7) ④がん薬物療法看護WG講演会2回/年(12/15・2/10) ⑤がん薬物療法部会における高知県内のBCPに対する取り組みとして、がん薬物療法を受ける患者さんに対する資料作成(年度内完成) ⑥がんプロで「がん薬物療法における支持療法と緩和治療」をテーマに、医師・薬剤師・看護師の共通カリキュラム作成し人材育成継続(R7年度は9名)、PDCA作成し改善に取り組んでいる</p>	<p>《課題》 【放射線部会】 骨転移に伴う骨髄圧迫に対する緊急照射に関する県内輪番制の啓蒙活動 【がん相談】 ・がん相談支援センターの知名度向上(患者・職員の双方に) 【がん薬物療法部会】 ・質の高いがん医療を提供するため、地域や医療機関、職種の垣根を越えた多職種によるチーム医療の推進が必要 ・医療DXの活用など、高知県の実状に合わせた取り組みが必要</p> <p>《今後の取組》 【放射線部会】 既に構築した輪番制を広く周知し活用してもらうための啓蒙活動の継続 【緩和ケア部会】 ・緩和ケアチーム専門委員会では、講演会を開催予定。また、立ち上がりつつもない緩和ケアチームの活動支援も引き続き行っていく ・緩和ケア病棟専門委員会では次年度も引き続き相互訪問・情報共有会を行い、得た情報やネットワークを自施設での緩和ケアの質向上や研修会の開催に活かせるように支援する ・在宅緩和ケア専門委員会では、2回/年の研修会を開催予定 【がん相談】 ・職員認知度の調査を行うことで現状分析と今後の対応の検討を図る。</p> <p>【がん薬物療法部会】 ・上記課題に対して左記取り組みを行ない、教育の機会を積極的につくり、多職種で症例検討しながら、チーム医療の推進を図る ・災害BCPの資料作成のうえ、次年度配布予定 ・災害取り組みについては、学術的にも取り組みを行ない、次年度資料の洗練化に取り組んでいく ・積極的に遠隔での取り組みを図る</p>

<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられている 	<p>標準的な治療(手術療法・放射線療法・薬物療法)が、質が高く安全に実施されている</p>	<p>【放射線治療】 高知県内において放射線治療に関する研修会の場は少なく、院内外を対象として実施(医師向け10回/年、多職種向け2回/年) 各診療科カンファレンスへ放射線治療科が参加し治療方針の検討 多職種による放射線治療部カンファレンスにて治療完遂を支援 治療方針説明・選択時に看護師が同席を行っている (がん患者指導管理料イ算定)</p> <p>【irAE対策チーム】 ①県拠点として院内全体組織でirAE対策チームの運用を実施 ②irAEに対するコンサルト表の運用を行ない、ICI使用診療科とirAE対応診療科との課題などを検討 ③irAEへの早期発見・早期対応ができるように、院内統一チェックリストによるトリアージ体制を整備した ④院内発生(irAE)に対する事例検討会を開催 ⑤カルテ上もアラート機能による注意喚起を行い、検査抜かりについて、薬剤部から医師へ報告</p>	<p>《課題》 【放射線治療部会】 ・一部の診療科のカンファレンスにしか参加できていない</p> <p>【irAE対策チーム】 ・昨年に引き続き、院内におけるirAEの実態把握が全数出来ていないため、全数把握に務める必要がある</p> <p>《今後の取組》 【放射線治療部会】 ・現在参加していない診療科カンファレンスの参加の検討</p> <p>【irAE対策チーム】 ・irAEに対する院内カルテシステム構築ができたので、積極的に活用して頂くよう取り組む ・県内唯一のirAE対策チームであるため、遠隔コンサルテーションができるような支援体制も検討していく</p>
	<p>チーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている</p>	<p>【放射線治療】 骨転移ボード(各診療科、整形外科、放射線治療科、腫瘍内科、緩和ケアチームなど)による多職種カンファレンス) 開催回数19回(4-11月) 30症例(腫瘍内科9件、泌尿器科8件、呼吸器内科6件など) 検討内容(治療方針30件、安静度8件など)</p> <p>【irAE対策チーム】 ①定期的な運営委員会の開催、院内資材等の見直し、院内におけるirAE発生頻度およびGrade状況の把握ができるようにカルテシステムの構築を行なっている ②irAE対策チーム委員による症例検討を行なうようにした</p>	<p>《課題》 院外からの相談対応 関連部署からの参加人数の伸び悩み</p> <p>【irAE対策チーム】 院内におけるirAEの実態把握が出来ていない</p> <p>《今後の取組》 放射線治療部会中心に検討が必要 【irAE対策チーム】 院内におけるirAEの実態把握を行い、irAEの重症化を予防するための取り組みが必要</p>

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
	診断時からの適切な緩和ケアが受けられる	<p>①PDCAサイクルの確保</p> <p>②緩和ケアセンターが独立(7/1)。独立に伴い、緩和ケアセンター運営委員会を発足。2回/年(10/16、2/19)委員会を開催し、緩和ケアセンターの活動状況の報告と、緩和ケア病棟開設に関する事業を検討している。また、緩和ケアセンターカンファレンス1回/週、緩和ケアセンターコアメンバー会議2回/年(10/8、2回目は未定)を開催し、緩和ケアセンターでの取り組みについて話し合える機会を持っている</p> <p>③ACP推進のためにテンプレートの活用について、リンクナースを中心に行った</p> <p>④緩和ケア病棟ワーキングを1回/月開催し、緩和ケア病棟開設に向けた準備を進めている</p> <p>⑤その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア研修会の開催1回(11/16) 緩和ケアセンター看護師の配置転換 がん看護専門看護師2名(がん看護外来対応) 緩和ケア認定看護師2名(緩和ケアチーム対応) 緩和ケアチームの新規介入患者数140人(25.4~11) 緩和ケア外来の年間新規診療患者数19人(25.4~8) 	<p>《課題》</p> <p>③ACPテンプレートの活用がまだ十分行っていない</p> <p>④大学病院の緩和ケア病棟としての特徴や役割を明確にし、地域の緩和ケア病棟との連携の仕方</p> <p>《今後の取組》</p> <p>③引き続きリンクナースを中心に、テンプレートの活用を促すとともに、テンプレートを適宜修正していく。また、活用状況の把握と評価を継続する</p> <p>④地域の緩和ケア病棟および医療施設に出向き、大学病院の緩和ケア病棟の特徴について説明を行い、連携体制を構築していく。さらに、緩和ケア病棟専門委員会にも委員として参加し、活動していく</p>
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている	在宅療養支援を進める	<ul style="list-style-type: none"> 在宅療養支援診療所の医師や訪問看護ステーションと退院前カンファレンスを開催したり、退院後も適宜情報共有を行っている 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 退院前カンファレンスが全ケースで開催できていない。タイムリーに情報共有ができる機会を増やす <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 退院前カンファレンスや情報共有を行う在宅療養支援診療所や訪問看護ステーションを増やすために、情報共有の方法についてもオンラインを活用するなど、連携しやすい方法を検討していく
	生殖機能温存療法及びがん治療後の生殖補助医療が十分に行われている	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠性温存に関する説明用チラシを配備するなど院内の体制を整備している 高知県がん生殖医療部会を開催し、院内だけでなく県内におけるがん生殖医療の実施状況の線数把握をおこなっている 高知県小児・AYA世代のがん患者等のがん性温存療法研究促進事業における指定医療機関の指定を受け、患者が県からの補助を利用できる体制を整備している <p>がん生殖医療外来の設置やがん生殖医療チームを結成し、院内で相談対応できる体制や窓口を設けている</p> <p>必要に応じて、妊娠性温存治療費の補助金制度の説明をがん相談支援センターにて行っている</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内での妊娠性温存治療の周知が不十分な可能性がある。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内での勉強会を開催し、対応フローチャートも作成していく。 市民公開講座なども計画していく。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	52.6% (R7)	S	向上
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者で役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	73.6% (R7)	B	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる</p>	<p>がんの相談支援を受けられる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口啓発ポスターを全外来、全病棟に掲示している。 がん相談支援センターについては病院パンフレットやホームページ、待合でのビデオ放映、外来や入院のしおり、予約票の裏面などで広報を行っている がん相談に兼任で関わるMSW11名全員が、国立がん研究センターの相談員研修1.2を受講済み がん情報サービスやキャンサーネットジャパンの冊子、高知県発行の冊子を常時50種類以上取りそろえ、患者・家族が自由に持ち帰れるよう整備している。また、各冊子の更新日などの情報の鮮度管理を行っている。 高知県で新たに始まったアピアランスケア支援事業及び若年がん患者在宅療養支援事業についてポスター掲示とチラシの配布を行っている 	<p>《課題》</p> <ol style="list-style-type: none"> がん相談事例のモニタリングが十分出来ていない。 がん患者が来室しやすい場所にご相談支援センターが配置されていない。 がん相談支援センターの周知が全患者に行き届いていない <p>《今後の取組》</p> <ol style="list-style-type: none"> 電話設備の刷新に伴い、自動音声による電話相談の録音を開始し、定期的な検討を行なう。 2026年10月以降に、がん診療を中心的に行なうフロアーにご相談支援センターのサテライトを設置し、患者が相談しやすい環境を構築する。
	<p>治療と仕事の両立支援を進める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ハローワークに月2回出張相談の機会を作ってもらい、患者家族へ広報を行なっている(全外来、全病棟) 産業保健総合支援センターと提携し、必要時に来院して共に患者支援に当たってもらえる体制を敷いている。 産業保健総合支援センターや県立図書館と協力し、両立支援に関する情報発信、図書館での出張相談会を実施している 両立支援に関する相談件数13件 (R7.1.1～11.30) アピアランスケアに関する啓発資料の作成 アピアランスケアの患者向け資料の掲示、配布を行なっている 当院外来化学療法センターの看護師と連携し、アピアランスケアを行っている アピアランスケアに関する相談9件 (R7.1.1～11.30) 	<p>《課題》</p> <ol style="list-style-type: none"> 院内で周知されたアピアランスケアに関する相談対応の体制が出来ていない アピアランスケアを行える看護師不足 <p>《今後の取組》</p> <ol style="list-style-type: none"> 外来化学療法室の看護師らと連携し、相談対応の体制を整備するとともに院内での周知を行う 外来化学療法室の全看護師が国立がん研究センターの研修受講予定

第4期 高知県がん対策推進計画における各関係機関の取組状況

4 基盤分野

拠点病院等
高知大学医学部附属病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上	S 数値目標の達成率 110%以上
MI比	0.39 (2019年値)	0.40 (2021年値)	—	0.5以下	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
DCO	1.1 (2019年値)	1.6 (2021年値)	—	10%以下	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・全国がん登録の精度を高めることができる</p>	がん登録届出体制の整備を推進する	<p>・令和7年度がん登録研修会(2026/2/28開催予定)</p> <p>集合研修において演習問題を実施し、がん登録における項目理解および登録内容の精度向上を図る</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年はweb研修での開催が主体だが、物価高の影響によりITサポート料も高騰している ・web研修は希望も多く、県外など遠地の参加も見込めるが、参加人数は集合研修(コロナ禍以前)と同等となっている <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数なども考慮しながら、研修会の形式や内容を検討する

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野

拠点病院等
高知医療センター

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56) (R3)	男性166.32、女性97.10 (全国平均 男性151.23、女性92.96) (R6)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少
がん種別5年生存率	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	—	向上
年齢調整罹患率	387.2(2019年値)	386.9(2021年値)	A	減少
20歳以上の喫煙率	男性27.0%、女性6.4%	男性27.0%、女性6.4% (R4)	—	男性20%以下、女性5%以下
受動喫煙の機会を有する人の割合	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6%	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6% (R4)	—	家庭(ほぼ毎日)3%以下、職場(月1回以上) 10%以下、飲食店(月1回以上)4.8%以下
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人	男性16.8%、女性9.6%	男性16.8%、女性9.6% (R4)	—	男性15%以下、女性7%以下
運動習慣者の割合	20～64歳 男性25.5%、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7%	20～64歳 男性25.5%、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7% (R4)	—	20～64歳 男性30%以上、女性30%以上 65歳以上 男性62%以上、女性50%以上
野菜摂取量(1日当たり)	274g	274g (R4)	—	350g以上
肝炎検査の受検者数	B型1,477人、C型1,471人	B型1,415人、C型1,397人 (R6)	B	増加
肝炎陽性者の精密検査受診率	77.8%	77.8%(R4)	—	90%以上
HPVワクチン接種率	29.9%(R3)	82.7%(R6)※	A	全国平均を超える

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

※令和4年度以降については、令和元年10月3日付け「ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種実施状況に関する調査について(依頼)」(厚生労働省健康局健康課事務連絡)の調査より算出

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんの死亡率が減少する</p> <p>■がんの罹患率が減少する</p> <p>・危険因子となる生活習慣が改善している</p> <p>・がんの原因となる感染症が抑制されている</p>	感染に起因するがん対策を進める	<p>・妊産婦に対しては必要な検査を実施するとともに、産後も検査の重要性を指導。</p>	<p>《課題》</p> <p>—</p> <p>《今後の取組》</p> <p>・現在の施策を継続。</p>
	学校教育におけるがん教育を進める	<p>・高知県がん教育推進協議会に参加。 がん教育のための外部講師として、4校へ医師を4人派遣(予定を含む)。</p> <p>・県民を対象(どなたでも参加可能)とした、がん公開講座を梶原町(2025/07/05開催)、高知市(2026/02/28開催予定)で各1回、県内講師を招いての特別講演会を高知市(2025/12/13開催)で1回、計3回開催(または開催予定)。</p>	<p>《課題》</p> <p>—</p> <p>《今後の取組》</p> <p>・現在の施策を継続。</p>

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

拠点病院等
高知医療センター

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
手術療法実施件数	3,464件 (R3)	3,744件 (R5)	A	増加
放射線療法実施件数	1,105件 (R3)	1,110件 (R5)	B	増加
薬物療法(外来化学療法)実施件数	21,947件 (R3)	-	-	増加

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられている</p>	拠点病院等の機能充実が図られる	<ul style="list-style-type: none"> ・がん診療連携協議会および各部署が企画する会議、講演会、研修会に参加。 ・その他、症例検討会、勉強会に参加。 	<p>《課題》</p> <p>—</p> <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の施策を継続。
	標準的な治療(手術療法・放射線療法・薬物療法)が、質が高く安全に実施されている	<ul style="list-style-type: none"> ・全職種を対象とした院内研修会(eラーニング)を1回/年実施。 	<p>《課題》</p> <p>—</p> <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の施策を継続。
	チーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている	<ul style="list-style-type: none"> ・R7年度がん診療連携協議会開催回数15回・検討症例20症例。(2025年12月末時点)がんゲノム治療のための検体出検の可否に関する検討が多い(14例/20例)。 ・定期的に、緩和ケアチーム、口腔ケアチーム、栄養サポートチーム等の専門チームによるカンファレンスを実施し、各患者に必要な治療やケアについて検討。 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん診療連携協議会では治療法の検討や患者の社会的、倫理的問題に対する検討が少ない傾向にある。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん診療連携協議会でもがん治療に関する幅広い問題の討議がなされるよう促していく。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

拠点病院等
高知医療センター

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている</p>	診断時からの適切な緩和ケアが受けられる	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケアセンター運営会議・緩和ケアチーム運用会議(4回/年)、緩和ケアチームカンファレンス(2回/週)を定期的に開催。 ・緩和ケア研修会の開催(2026年2月1日開催予定)。 ・緩和ケア専門医師による緩和ケア外来は5日/週実施。多職種で構成する緩和ケアチーム(認知医師1名、がん看護専門看護師2名を含む)が病棟横断的に活動し、随時依頼オーダー可能。 ・緩和ケアチームの案内をポスター掲示。 ・全がん患者の苦痛スクリーニングを継続して実施、陽性抽出者にはすべて介入している。 ・症状緩和基準を作成し、イントラネットで共有。基準は定期的に改訂。 	<p>《課題》</p> <p>—</p> <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんセンター長等より病院幹部に人的資源の必要性を説明し、理解をはかる。 ・現在の施策を実施。
	在宅療養支援を進める	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養支援診療所の医師や訪問看護ステーションとの退院前カンファレンスを開催。退院後も適宜情報共有を行っている。 ・地域医療センター、地域連携室と情報共有・共働。 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアの継続性が必要。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の施策を継続。
	生殖機能温存療法及びがん治療後の生殖補助医療が十分に行われている	<ul style="list-style-type: none"> ・妊孕性温存に関する説明用チラシや対応フローチャートの作成、院内掲示等により、院内の体制を整備。 ・高知県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業における指定医療機関の指定を受け、患者が県からの補助を利用できる体制を整備。 ・不妊治療認定看護師が横断的に活動中。また、医療局協議会で医師への妊孕性温存について周知。 	<p>《課題》</p> <p>—</p> <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の施策を継続。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

3 共生分野

拠点病院等
高知医療センター

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	52.6% (R7)	S	向上
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者で役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	73.6% (R7)	B	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる</p>	<p>がんの相談支援を受けることができ、自分にあった正しい情報が得られる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口啓発ポスター、カードを院内に掲示。 ・病院パンフレットやホームページ、入院案内ビデオ、入院のしおりなどでがん相談支援センターの広報を実施。 ・相談員 6名(看護師 1名、専従 MSW 1名、専任 MSW 1名、その他 MSW 3名)全員が国立がん研究センターの相談員研修受講済み。 ・高知がん診療連携協議会に情報提供、相談支援部会に参加。相談員向け研修会2025年7月開催分に参加、2026年2月開催分に参加予定。 ・がん情報サービスやがんネットジャパンの冊子、高知県発行の冊子を準備し、患者・家族が必要時に持ち帰れるよう整備。 ・がんサロンを実施中。 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人的資源の有効活用。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の施策を継続。 ・地域医療センターや患者支援センターとの共働。
	<p>治療と仕事の両立支援を進める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国の令和7年度アピアランス支援モデル事業に参加 アピアランスケアに関する啓発資料の作成、院内外での啓蒙活動の実施。 アピアランスケアに関する相談フローやスクリーニングを作成。(11/17から運用) スクリーニング件数87件(令和7年11/17~12/24実績) アピアランスケア運営部会を組織し、定例会を月1回開催(令和7年7月より)。 院内でのアピアランスケアに関する窓口を設置し、院内周知を実施。 アピアランスケアの基礎知識習得のため、全職員を対象にeラーニング研修を実施。 アピアランスケアコーナーの整備(レイアウトや物品などを見直し中)。 ・高知がん診療連携協議会に情報を提供。相談支援部会の出張がん相談に参加して社労士等とともに相談に対応。 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アピアランスケアに関する高知県の均てん化を図るための県内での取り組みの強化。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内外での研修会や勉強会の開催、院内の広報活動を通じて、アピアランスケアの認知度を上げる。 高知県内の患者・家族が参加できる『患者会』を開催する予定。 ・必要に応じて、ハローワークや産保センターの出張相談につなげる。

第4期 高知県がん対策推進計画における各関係機関の取組状況

4 基盤分野

拠点病院等
高知医療センター

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2%(R7)	B	向上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
MI比	0.39(2019年値)	0.40(2021年値)	—	0.5以下	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満 C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
DCO	1.1(2019年値)	1.6(2021年値)	—	10%以下	D 数値目標の達成率 70%未満 — 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・全国がん登録の精度を高めることができる</p>	がん登録届出体制の整備を推進する	<p>・2026年2月に、がん登録研修会の開催を予定。</p> <p>・ホームページで、がん5年生存率を公開。</p>	<p>《課題》</p> <p>・がん登録研修会への参加人数の伸び悩み。</p> <p>《今後の取組》</p> <p>・コロナ禍以降、研修会の集合開催をしていなかったため、今後、集合開催を実施して、日々の登録の疑問点など意見交換を行える場の提供を検討中。</p>

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56) (R3)	男性166.32、女性97.10 (全国平均 男性151.23、女性92.96) (R6)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少	
がん種別5年生存率	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	—	向上	
年齢調整罹患率	387.2(2019年値)	386.9(2021年値)	A	減少	
20歳以上の喫煙率	男性27.0%、女性6.4%	男性27.0%、女性6.4% (R4)	—	男性20%以下、女性5%以下	
受動喫煙の機会を有する人の割合	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6%	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6% (R4)	—	家庭(ほぼ毎日)3%以下、職場(月1回以上) 10%以下、飲食店(月1回以上)4.8%以下	
生活習慣病のリスクを高める量を 飲酒している人	男性16.8%、女性9.6%	男性16.8%、女性9.6% (R4)	—	男性15%以下、女性7%以下	
運動習慣者の割合	20～64歳 男性25.5、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7%	20～64歳 男性25.5、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7% (R4)	—	20～64歳 男性30%以上、女性30%以上 65歳以上 男性62%以上、女性50%以上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
野菜摂取量(1日当たり)	274g	274g (R4)	—	350g以上	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
肝炎検査の受検者数	B型1,477人、C型1,471人	B型1,415人、C型1,397人 (R6)	B	増加	C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
肝炎陽性者の精密検査受診率	77.8%	77.8%(R4)	—	90%以上	D 数値目標の達成率 70%未満
HPVワクチン接種率	29.9%(R3)	82.7%(R6)※	A	全国平均を超える	— 達成度の判断が困難なもの

※令和4年度以降については、令和元年10月3日付け「ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種実施状況に関する調査について(依頼)」(厚生労働省健康局健康課事務連絡)の調査より算出

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんの死亡率が減少する ■がんの罹患率が減少する ・危険因子となる生活習慣が改善している ・がんの原因となる感染症が抑制されている	感染に起因するがん対策を進める	・妊産婦に対し、必要な検査を実施。産後も検査の重要性を指導している	《課題》 — 《今後の取組》 ・継続
	学校教育におけるがん教育を進める	●高知県がん教育推進協議会に参加 ●がん教育の外部講師として派遣 ・緩和ケア認定看護師を17校へ派遣 ・看護師1名(院内認定がん教育外部講師育成コース修了者)を4校へ派遣	《課題》 ・学校教員主体のがん教育の実施 《今後の取組》 ・外部講師としての活動。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
手術療法実施件数	3,464件 (R3)	3,744件 (R5)	A	増加
放射線療法実施件数	1,105件 (R3)	1,110件 (R5)	B	増加
薬物療法(外来化学療法)実施件数	21,947件 (R3)	-	-	増加

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられている</p>	拠点病院等の機能充実が図られる	<ul style="list-style-type: none"> 資格制度の取得と更新(各分野専門看護師、各分野認定看護師、緩和薬物療法認定薬剤師、がん病態栄養専門管理栄養士) 乳がん看護認定看護師が週に1日乳腺外来で勤務 薬事ニュースの発行:薬剤の服薬管理や副作用対策等、情報共有や啓発を行う がん遺伝子パネル検査における他院との医療DXの推進 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の医療機関との連携 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続
	標準的な治療(手術療法・放射線療法・薬物療法)が、質が高く安全に実施されている	<ul style="list-style-type: none"> がん薬物療法認定看護師による、院内IVナース育成コース、フォローアップ研修の開催 がん看護専門看護師による、意思決定支援の勉強会の開催:はたまるパートナーズ (6/17) がん診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催(医師5名参加) 令和7年度 質の高いがん看護実践を検討する会 共催と参加の促進(6/21、12/20) 院内や地域の医療従事者を対象とした、がんの勉強会の開催(5/23) 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマ(がんに限らず)を問わず、時間外での研修参加者数が減少している。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> がん医療に関わる各職種が積極的に研修に参加する。 がん診療連携協議会各部署が企画する研修会の広報
	チーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている	<ul style="list-style-type: none"> ●がんボード開催回数6回・参加人数206人 ●乳腺カンファレンスの開始:毎週水曜日 定期的に、緩和ケアチーム、褥瘡対策チーム、認知症サポートチーム、NSTなどの専門チームのミーティングを実施。 認定看護師やがん看護専門看護師、家族支援専門看護師などへの相談や専門チーム間での連携を図り、各患者に必要な治療やケアについて検討 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> がんボードへ多職種が参加し多角的な検討の場とはなっているが参加者が固定しつつある。より多くの医療者の参加が望ましい。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 事例提示の声掛けと広報

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている</p>	診断時からの適切な緩和ケアが受けられる	<p>●専門職種が協働しながら、患者と家族への治療や看護を実践</p> <p>緩和薬物療法認定薬剤師2名 がん看護専門看護師1名(看護部) 緩和ケア認定看護師1名(緩和ケア支援室) がん薬物療法認定看護師2名(外来治療室) 乳がん看護認定看護師1名(病棟、週1日:外来)</p> <p>●幡多ふれあい医療公開講座:住民を対象にがんに関する講演を1演題実施</p> <p>・6/8 宿毛市文教センター:講演「最期まで自分らしく生きるために」 講師「幡多けんみん病院 がん看護専門看護師 上田三智代」 参加者45名</p> <p>●がんの学び舎:講師が各市町村へ出向き、がんについての講演3回実施</p> <p>・7/20 四万十市口鴨川集休憩場:参加者 26名 ・10/4 四万十市中筋地域交流館:参加者 21名 ・12/7 黒潮町上川口浦集会所:参加者 35名</p>	<p>《課題》</p> <p>・緩和ケアリンクナースの育成</p> <p>《今後の取組》</p> <p>・多職種との協働の継続</p>
	在宅療養支援を進める	<p>・訪問診療の医師や訪問看護ステーション等と退院前カンファレンスを開催したり、退院後も適宜情報共有を行っている。</p> <p>・退院前、退院後の在宅への訪問(院内多職種、在宅スタッフの同行)</p>	<p>《課題》</p> <p>—</p> <p>《今後の取組》</p> <p>・継続</p>
	生殖機能温存療法及びがん治療後の生殖補助医療が十分に行われている	<p>・妊孕性温存に関する医療従事者向けの資料はあるが、住民への説明用チラシ、対応フローチャートの整備ができていない。</p>	<p>《課題》</p> <p>・住民向けの説明用チラシ、対応フローチャートの整備</p> <p>《今後の取組》</p> <p>・がん診療委員会で協議する</p>

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

3 共生分野

拠点病院等
高知県立幡多けんみん病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	52.6% (R7)	S	向上
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者で役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	73.6% (R7)	B	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる</p>	<p>がんの相談支援を受けることができ、自分にあった正しい情報が得られる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口啓発ポスター、カードを院内掲示 がん相談支援センターについては病院ホームページ、入院の案内などで広報を行っている 相談員3人が国立がん研究センターの相談員研修受講済み がん情報サービスやキャンサーネットジャパンの冊子、高知県発行の冊子をそろえ、患者・家族が必要時に持ち帰れるよう整備 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 設備上、がん相談支援センターを必ず立ち寄ることは難しい。相談窓口の広報や個別な支援の継続が必要 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知がん診療連携協議会情報提供相談支援部会における活動と取組を継続。
	<p>治療と仕事の両立支援を進める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●アピアランスケア アピアランスケアに関する啓発資料作成：乳がん看護認定看護師 (①乳房の手術を受けた方への下着、パッドのアドバイス②乳房の手術を受けた方へ③きれいな外観を保つための工夫について) 上記パンフレットを使用し、アピアランスケア、生活指導を個別に実施 アピアランスケア用品購入費助成のご案内(県作成)や各種資料を設置 ●両立支援 両立支援の冊子を設置 令和7年度治療と仕事の両立支援推進チーム連絡会議へ参加(8/27) 	<p>《課題》</p> <p>—</p> <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般的な情報提供と個別な相談支援を継続

第4期 高知県がん対策推進計画における各関係機関の取組状況

4 基盤分野

拠点病院等
高知県立幡多けんみん病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2%(R7)	B	向上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
MI比	0.39(2019年値)	0.40(2021年値)	—	0.5以下	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満 C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
DCO	1.1(2019年値)	1.6(2021年値)	—	10%以下	D 数値目標の達成率 70%未満 — 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・全国がん登録の精度を高めることができる</p>	<p>がん登録届出体制の整備を推進する</p>	<p>・がん登録研修会の開催1回(令和8年2月頃 開催予定)</p> <p>・高知県院内がん登録データ集計2022~2024のためのデータ収集</p>	<p>《課題》</p> <p>・がん登録研修会を実施しているが参加者数が減ってきている。</p> <p>《今後の取組》</p> <p>・研修会については、約1週間のオンデマンド配信を企画、実施し参加人数の増加を図る。</p>

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56) (R3)	男性166.32、女性97.10 (全国平均 男性151.23、女性92.96) (R6)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少
がん種別5年生存率	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	—	向上
年齢調整罹患率	387.2(2019年値)	386.9(2021年値)	A	減少
20歳以上の喫煙率	男性27.0%、女性6.4%	男性27.0%、女性6.4% (R4)	—	男性20%以下、女性5%以下
受動喫煙の機会を有する人の割合	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6%	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6% (R4)	—	家庭(ほぼ毎日)3%以下、職場(月1回以上) 10%以下、飲食店(月1回以上)4.8%以下
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人	男性16.8%、女性9.6%	男性16.8%、女性9.6% (R4)	—	男性15%以下、女性7%以下
運動習慣者の割合	20～64歳 男性25.5%、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7%	20～64歳 男性25.5%、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7% (R4)	—	20～64歳 男性30%以上、女性30%以上 65歳以上 男性62%以上、女性50%以上
野菜摂取量(1日当たり)	274g	274g (R4)	—	350g以上
肝炎検査の受検者数	B型1,477人、C型1,471人	B型1,415人、C型1,397人 (R6)	B	増加
肝炎陽性者の精密検査受診率	77.8%	77.8%(R4)	—	90%以上
HPVワクチン接種率	29.9%(R3)	82.7%(R6)※	A	全国平均を超える

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

※令和4年度以降については、令和元年10月3日付け「ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種実施状況に関する調査について(依頼)」(厚生労働省健康局健康課事務連絡)の調査より算出

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんの死亡率が減少する</p> <p>■がんの罹患率が減少する</p> <p>・危険因子となる生活習慣が改善している</p> <p>・がんの原因となる感染症が抑制されている</p>	感染に起因するがん対策を進める	<p>・妊産婦に対し、必要な検査を実施。産後も検査の重要性を指導している</p> <p>・抗がん剤治療の肝炎既往者には半年ごとに肝機能検査を行っている</p>	<p>《課題》</p> <p>・特になし</p> <p>《今後の取組》</p> <p>・継続</p>
	学校教育におけるがん教育を進める	・実績なし	<p>《課題》</p> <p>・地域の学校との情報共有、機会を設ける</p> <p>《今後の取組》</p> <p>・がんの正しい知識の啓蒙と、健康と命の大切さについて学ぶ機会の提供に努める</p>

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

拠点病院等
あき総合病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
手術療法実施件数	3,464件 (R3)	3,744件 (R5)	A	増加
放射線療法実施件数	1,105件 (R3)	1,110件 (R5)	B	増加
薬物療法(外来化学療法)実施件数	21,947件 (R3)	-	-	増加

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられている</p>	拠点病院等の機能充実が図られる	<ul style="list-style-type: none"> 症例検討会(月1回)・参加人数20人/回程度 全科医師によるモーニングカンファレンス(毎日) 第5回放射線治療部会 講演会「緊急緩和放射線治療」(2025.11.11開催) 参加人数: 84名(現地49名・WEB35名) 医師等を対象とした緩和ケア研修会の開催(R7.11.16開催) 高知大学医学部附属病院と共同開催。参加人数: 31名 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア研修会については他の拠点病院と協議して、共同開催を継続する
	標準的な治療(手術療法・放射線療法・薬物療法)が、質が高く安全に実施されている	<ul style="list-style-type: none"> 職員を対象とした院内研修会の開催7回(がん免疫療法、CVポート管理、栄養管理体制、経腸栄養、麻薬管理など) 高知県薬物療法、緩和ケア、放射線治療部会主催の研修会への参加 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数の確保 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・eラーニング等も活用し、集合研修に参加できないスタッフや自身の振り返り等いつでも研修が受講できるような環境整備を行う
	チーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている	<ul style="list-style-type: none"> がんサーボード開催回数4回・参加人数20人/回程度 定期的に、緩和ケアチーム、栄養サポートチーム等の専門チームのミーティングを実施し、各患者に必要な治療やケアについて議論 各科リレー研修による職員対象の勉強会開催(隔月開催) 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種での参加人数の確保 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

拠点病院等
あき総合病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている</p>	<p>診断時からの適切な緩和ケアが受けられる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア研修会の開催 1回 (R7.11.16開催) 緩和ケア等がん看護専従職員の配置 がん看護専門看護師 1名 地域住民を対象としたミニ講座の開催 3回 (予定) 緩和ケアチームの新規介入患者数 70人/年 緩和ケア外来の年間新規診療患者数 30人 患者さんへの告知時に看護師の同席 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 急な診断の告知時には看護師の同席ができていないときがある <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続
	<p>在宅療養支援を進める</p>	<ul style="list-style-type: none"> 在宅療養支援診療所の医師や訪問看護ステーションと退院前カンファレンスを開催したり、退院後も適宜情報共有を行っている 外来通院時より介護保険申請や福祉職との連携を図っている 病院と在宅医とで連携を図っている (処方内容のアドバイスなど) 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅療養を提供できる医療機関等が多いとは言えず地域への調整が難しい場面がある <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の医療従事者を対象とした研修会を開催し地域の体制強化に繋げる
	<p>生殖機能温存療法及びがん治療後の生殖補助医療が十分に行われている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 妊孕性温存に関する説明用チラシを院内掲示するなど情報提供を行っている 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊孕性温存療法を行える体制がないため、連携先の医療機関に紹介して対応している <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

3 共生分野

拠点病院等
あき総合病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	52.6% (R7)	S	向上
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者で役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	73.6% (R7)	B	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる</p>	がんの相談支援を受けることができ、自分にあった正しい情報が得られる	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口啓発ポスター、カードを院内掲示 がん相談支援センターについては病院パンフレットやホームページ、入院のしおりなどで広報を行っている 全ての相談員が国立がん研究センターの相談員研修受講済み（5名） がん情報サービス等の冊子を患者・家族が必要時に持ち帰れるよう整備 診断時にはがんサポートブックをお渡ししている 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 冊子や書籍等に関して選定基準が定まっていない <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 選定基準を定めて計画的な書籍整備を実施する
	治療と仕事の両立支援を進める	<ul style="list-style-type: none"> アピアランスケアに関する啓発資材のパンフレットの配置 アピアランスケアに関する相談1件 各市町村の助成制度の情報提供 サンプル品の提示 診断と同時に今後の仕事の継続についての相談対応 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続

第4期 高知県がん対策推進計画における各関係機関の取組状況

4 基盤分野

拠点病院等
あき総合病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (%)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2%(R7)	B	向上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
MI比	0.39(2019年値)	0.40(2021年値)	—	0.5以下	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満 C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
DCO	1.1(2019年値)	1.6(2021年値)	—	10%以下	D 数値目標の達成率 70%未満 — 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国がん登録の精度を高めることができる 	がん登録届出体制の整備を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページで理解促進に向けた啓発実施 ・ がん登録の状況を院内に周知 ・ 初期研修医を対象とした院内がん登録に関する研修会の開催 1回/年 (R7年度 5名) 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ がん登録データの活用までは行えていない <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現場へのフィードバック等含めた取り組みを検討していく

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56) (R3)	男性166.32、女性97.10 (全国平均 男性151.23、女性92.96) (R6)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少
がん種別5年生存率	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	—	向上
年齢調整罹患率	387.2(2019年値)	386.9(2021年値)	A	減少
20歳以上の喫煙率	男性27.0%、女性6.4%	男性27.0%、女性6.4% (R4)	—	男性20%以下、女性5%以下
受動喫煙の機会を有する人の割合	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6%	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6% (R4)	—	家庭(ほぼ毎日)3%以下、職場(月1回以上) 10%以下、飲食店(月1回以上)4.8%以下
生活習慣病のリスクを高める量を を飲酒している人	男性16.8%、女性9.6%	男性16.8%、女性9.6% (R4)	—	男性15%以下、女性7%以下
運動習慣者の割合	20～64歳 男性25.5%、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7%	20～64歳 男性25.5%、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7% (R4)	—	20～64歳 男性30%以上、女性30%以上 65歳以上 男性62%以上、女性50%以上
野菜摂取量(1日当たり)	274g	274g (R4)	—	350g以上
肝炎検査の受検者数	B型1,477人、C型1,471人	B型1,415人、C型1,397人 (R6)	B	増加
肝炎陽性者の精密検査受診率	77.8%	77.8%(R4)	—	90%以上
HPVワクチン接種率	29.9%(R3)	82.7%(R6)※	A	全国平均を超える

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

※令和4年度以降については、令和元年10月3日付け「ヒトパピロマウイルス感染症の予防接種実施状況に関する調査について(依頼)」(厚生労働省健康局健康課事務連絡)の調査より算出

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんの死亡率が減少する</p> <p>■がんの罹患率が減少する</p> <p>・危険因子となる生活習慣が改善している</p> <p>・がんの原因となる感染症が抑制されている</p>	感染に起因するがん対策を進める	<ul style="list-style-type: none"> 啓発:SRHセミナー 指導者のための避妊と性感染症予防セミナー(主催・講師) 妊産婦に対し、必要な検査を実施。産後も検査の重要性を指導している 検診後紹介された患者への治療の実施 6/16～7/25 「高知県立大学健康教育講座」における講師 肝炎ウイルス 精査、経過観察 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域へのさらなる働きかけ <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域への働きかけについてHP等で掲示 ・Instagramの開設
	学校教育におけるがん教育を進める	<ul style="list-style-type: none"> ・PRINK高知県思春期相談センター(1回/月) ・高知県教育委員会より「性教育出前授業」 11/7 高知商業高等学校定時制 11/12 高知商業高等学校 12/12 高知追手前高等学校吾北分校 1/26 香南市立香我美中学校 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政と連携し出前研修等システム整備 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> HP等を利用し、広く一般(学校等も含み)に対しがん教育の出前研修を受け付ける仕組みを構築する 新たな情報発信を検討する

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

拠点病院等
国立病院機構高知病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
手術療法実施件数	3,464件 (R3)	3,744件 (R5)	A	増加
放射線療法実施件数	1,105件 (R3)	1,110件 (R5)	B	増加
薬物療法(外来化学療法)実施件数	21,947件 (R3)	-	-	増加

S 数値目標の達成率 110%以上
 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
 B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
 C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
 D 数値目標の達成率 70%未満
 - 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられている</p>	<p>拠点病院等の機能充実が図られる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療機関との緩和ケア事例検討会の参加 (R8. 3. 6もみのき病院主催) ・がんサロン8月を除く毎月第3木曜日開催した(1月～3月も実施予定) ・セカンドオピニオン対応 ・市民公開講座 開催 <ul style="list-style-type: none"> 11/15 市民公開講座「肺がんについて」「大腸がんについて」 2/24 市民公開講座「前立腺がんについて」開催予定(Web) ・高知病診連携フォーラム10回/年 がんに関するテーマ3回 <ul style="list-style-type: none"> 6/26 ACP もしもの時の人生会議 10/30 甲状腺の外科的治療 2/5 最新の肺がん治療(実施予定) 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療機関との計画的な症例検討会の開催(コロナで定期開催ができていなかった) <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自施設での事例検討会の開催 ・他院の自邸検討会に積極的に参加し高知西地区の関連施設と連携を図る。
	<p>標準的な治療(手術療法・放射線療法・薬物療法)が、質が高く安全に実施されている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・がん化学療法委員会(レジメン改定含め)1回/月 ・緩和ケア委員会(1回/月) ・乳腺チーム(多職種)立ち上げ ・看護職員を対象とした院内研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> レスキュードーズ研修 抗がん剤ボトル交換研修 IVナース研修 がん化学療法専門コース 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな抗がん剤の安全な投与に向けて副作用出現時の他施設連携強化(イムデトラ) ・人材育成 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規レジメンの安全な実施に向けた施設との連携システム構築 ・高知大学医学部付属病院放射線科との連携強化 ・院内情報共有
	<p>チーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・がん化学療法委員会(レジメン改定含め)1回/月 ・緩和ケア委員会(1回/月) ・乳腺チーム(多職種)立ち上げ ・看護職員を対象とした院内研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> レスキュードーズ研修 抗がん剤ボトル交換研修 IVナース研修 がん化学療法専門コース 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定行為看護師のチーム医療への参画 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス等に組織的に特定行為看護師が能力を発揮しているような仕組みづくりを行う

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

国立病院機構高知病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
	診断時からの適切な緩和ケアが受けられる	<ul style="list-style-type: none"> ・R7年5月より毎金曜AM緩和ケア外来開設(他院より)治療期からの緩和ケア導入 ・外来からの早期介入のためがん相談が介入している。 ・がん相談予約システムを導入 ・緩和ケア委員会を年6回開催し情報共有を行っている ・緩和ケアリンクナース会で情報を共有 ・がん性疼痛看護認定看護師1名 ・緩和ケア認定看護師1名 ・がんサロン毎月開催 地域住民を対象としたミニ講座の開催 ・ACPシート導入 ・緩和ケアチームの新規紹介患者数47人(12月末現在) 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんにかかわる専門職員・リンクナース等の育成 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケアリンクナース会でリンクナースへのがん看護教育を行うことで、各部署でコアメンバーとして活動を図る 認定看護師・特定行為看護師の育成
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている</p>	在宅療養支援を進める	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養支援診療所の医師や訪問看護ステーションと退院前カンファレンスを開催し退院後も適宜情報共有を行っている ・外来から在宅支援診療医と訪問看護を導入し、在宅看取り支援を行っている ・地域のケース会などに参加し連携を行っている ・高知医療連携ネットワーク会参加 ・高知市医師会カンファレンスに参加 連携 ・在宅支援診療医への訪問活動(5施設) 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来からの在宅支援導入 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県医療連携ネットワーク会 4回/年 勉強会参加情報交換(43施設) ・連携施設への訪問活動(顔の見える連携)80施設/年 ・事例検討会開催
	生殖機能温存療法及びがん治療後の生殖補助医療が十分に行われている	<ul style="list-style-type: none"> ・妊孕性温存に関する説明用チラシを関係各所に配布 ・高知県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業に患者が県からの補助を利用できるように説明ができる体制を整備している ・AYA世代のがん相談件数 0件 (12月末現在) 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊孕性にかかる相談件数がない <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊孕性についての相談窓口を統一する

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

3 共生分野

拠点病院等
国立病院機構高知病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	52.6% (R7)	S	向上
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者で役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	73.6% (R7)	B	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる</p>	<p>がんの相談支援を受けられる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口啓発ポスター、カードを院内掲示 がん相談支援センターについては病院パンフレットやホームページ、入院のしおりなどで広報を行っている 相談員4人中1人が国立がん研究センターの相談員基礎研修受講済み 高知県がん情報提供相談支援部会の相談員向けの研修会に参加 がん情報サービスやキャンサーネットジャパンの冊子、高知県発行の冊子を取りそろえ、患者・家族が必要時に持ち帰れるよう整備 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> がん相談員の育成 緩和ケアCN1名 →がん相談研修参加に向け調整 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> がん相談員基礎研修受講者を増やす(現在1名) がん看護に関わる職員(CN他)との連携を強化
	<p>治療と仕事の両立支援を進める</p>	<ul style="list-style-type: none"> 両立支援に関する相談 1件 高知県産業保健総合支援センターとの協働 アピアランスケアに関する啓発資料の作成 高知県のアピアランス助成事業に関する説明実施 アピアランスケアに関する相談15件 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 両立支援についての周知 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 両立支援についてポスター掲示等を行うことで窓口を明確化し、宣伝を行い件数増加を図る。高知県産業保健総合支援センターとの協働を図る

第4期 高知県がん対策推進計画における各関係機関の取組状況

4 基盤分野

国立病院機構高知病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2%(R7)	B	向上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
MI比	0.39(2019年値)	0.40(2021年値)	—	0.5以下	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満 C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
DCO	1.1(2019年値)	1.6(2021年値)	—	10%以下	D 数値目標の達成率 70%未満 — 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・全国がん登録の精度を高めることができる</p>	がん登録届出体制の整備を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースファインディングシステムの構築 ・がん登録作業、登録データ提出用マニュアルの作成 ・がん登録規定の見直し及び更新 ・がん登録の運用体制の見直し 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録漏れへのアプローチについて (以前) 病理データのケースファインディングを通じた登録作業(基本運用) <p>(現在)</p> <p>これまでの基本運用に加え、前日退院のDPCデータから登録対象データ(入院患者)をリアルタイム登録、及びDWHデータのケースファインディングを通じた登録作業(外来患者)に移行中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者の定期的なスキルアップ (国立がん研究センター提供eラーニングの活用等) <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん登録データの利活用(院内公開およびホームページにて公開) ・定期的な登録者のスキルアップ(研修会、学会への参加) ・随時運用方法の見直し ・学会発表・他施設共同研究

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56) (R3)	男性166.32、女性97.10 (全国平均 男性151.23、女性92.96) (R6)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少	
がん種別5年生存率	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	—	向上	
年齢調整罹患率	387.2(2019年値)	386.9(2021年値)	A	減少	
20歳以上の喫煙率	男性27.0%、女性6.4%	男性27.0%、女性6.4% (R4)	—	男性20%以下、女性5%以下	
受動喫煙の機会を有する人の割合	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6%	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6% (R4)	—	家庭(ほぼ毎日)3%以下、職場(月1回以上) 10%以下、飲食店(月1回以上)4.8%以下	
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人	男性16.8%、女性9.6%	男性16.8%、女性9.6% (R4)	—	男性15%以下、女性7%以下	
運動習慣者の割合	20～64歳 男性25.5%、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7%	20～64歳 男性25.5%、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7% (R4)	—	20～64歳 男性30%以上、女性30%以上 65歳以上 男性62%以上、女性50%以上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
野菜摂取量(1日当たり)	274g	274g (R4)	—	350g以上	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
肝炎検査の受検者数	B型1,477人、C型1,471人	B型1,415人、C型1,397人 (R6)	B	増加	C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
肝炎陽性者の精密検査受診率	77.8%	77.8%(R4)	—	90%以上	D 数値目標の達成率 70%未満
HPVワクチン接種率	29.9%(R3)	82.7%(R6)※	A	全国平均を超える	— 達成度の判断が困難なもの

※令和4年度以降については、令和元年10月3日付け「ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種実施状況に関する調査について(依頼)」(厚生労働省健康局健康課事務連絡)の調査より算出

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんの死亡率が減少する ■がんの罹患率が減少する ・危険因子となる生活習慣が改善している ・がんの原因となる感染症が抑制されている	感染に起因するがん対策を進める	・診療の中で適宜感染症検査を実施し、陽性者には指導や受診勧奨を実施	《課題》 ・特になし 《今後の取組》 ・感染症検査及び指導や受診勧奨の継続
	学校教育におけるがん教育を進める	・学校教育におけるがん教育は特に取り組んでいない ・県民対象のがん医療公開講座は高知市、佐川町で2回開催、参加者計145名 ・地域に向いて行うミニ講座でがん関係は2回開催、参加者計60名 ・院内で行ういきいき健康教室はがん関係のテーマでは開催なし	《課題》 ・学校教育におけるがん教育は取り組んでいない 《今後の取組》 ・県民対象の公開講座、いきいき健康教室、ミニ講座を継続

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

拠点病院等
高知赤十字病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
手術療法実施件数	3,464件 (R3)	3,744件 (R5)	A	増加
放射線療法実施件数	1,105件 (R3)	1,110件 (R5)	B	増加
薬物療法(外来化学療法)実施件数	21,947件 (R3)	-	-	増加

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられている</p>	拠点病院等の機能充実が図られる	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者機能評価、自殺リスクへの対応に関する研修会を継続開催 ・地域の医師会と共催でがん訪問カンファレンスを行い、多職種に参加いただき連携を強化 開催回数3回・参加人数 85名(3月に1回予定あり) ・がん薬物療法認定看護師を1名育成 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん訪問カンファレンスで医師の参加が少なめ <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者機能評価、自殺リスクへの対応に関する研修会は継続していく ・がん訪問カンファレンスを継続開催し、医師への呼びかけを続ける
	標準的な治療(手術療法・放射線療法・薬物療法)が、質が高く安全に実施されている	<ul style="list-style-type: none"> ・がん症例検討会開催 9回・参加人数 297人(月1回開催) ・全職員を対象とした院内研修会(がん医療・緩和ケア研修)の開催9回、参加者数 163名(今後2回予定あり) ・腫瘍内科外来を週1回行い、コンサルテーションしやすい体制を維持 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内研修への参加者が少ない <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修は実際に生かせる内容になるよう企画する ・腫瘍内科に積極的にコンサルトしていくよう働きかける
	チーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署で適宜多職種によるカンファレンスを行っている。 ・定期的に、緩和ケアチーム、栄養サポートチーム等の専門チームのミーティングを実施し、各患者に必要な治療やケアについて議論 ・がん症例検討会開催 9回・参加人数 297人(月1回開催) ・地域の医師会と共催でがん訪問カンファレンスを行い、多職種に参加いただき連携を強化 開催回数3回・参加人数85人(3月に1回予定あり) 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケアチームは主に活動する医師が非常勤である <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん症例検討会、がん訪問カンファレンスの継続

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

拠点病院等
高知赤十字病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度 of 取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている</p>	診断時からの適切な緩和ケアが受けられる	<ul style="list-style-type: none"> 「生活のしやすさに関する質問票」を用いて苦痛のスクリーニングを行い必要時緩和ケアチームにつなげる体制にしている 緩和ケアに関する院内研修の開催4回(3月に1回予定あり) がん看護専門看護師3名・緩和ケア認定看護師1名他を緩和ケアチーム・がん相談へ配置 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア医師は非常勤である 病棟所属のがん関係の専門・認定看護師は主に活動日のみの活動となっている。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア医師はできるだけ主治医と直接コミュニケーションを取ることを継続していく。 専門・認定看護師の介入はローテーションの体制としており、引継ぎを徹底することで継続した介入ができるようにしていく。
	在宅療養支援を進める	<ul style="list-style-type: none"> 在宅療養支援診療所の医師や訪問看護ステーション、ケアマネジャーと退院前カンファレンスを開催したり、退院後も適宜情報共有を行っている 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者・家族に対し情報提供、療養支援が十分行えていない <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 早い時期から情報提供を行い、タイミングよく支援できるように介入していく。
	生殖機能温存療法及びがん治療後の生殖補助医療が十分に行われている	<ul style="list-style-type: none"> 妊孕性温存に関する説明用チラシ、対応フローチャート、院内掲示をするなど院内の体制を整備している 高知県妊よう性温存治療費補助金交付について説明できる体制としている 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 該当者が少ないことからスタッフの意識が徹底できていない可能性がある <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な患者に情報提供が抜からないようスタッフ教育を行い意識付けをしていく

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

3 共生分野

拠点病院等
高知赤十字病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	52.6% (R7)	S	向上
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者で役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	73.6% (R7)	B	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる</p>	<p>がんの相談支援を受けることができ、自分にあった正しい情報が得られる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・がん相談支援センターについては病院パンフレットやホームページ、入院案内ビデオ、入院のしおり、院内掲示などで広報を行っていたが、さらにがん診断後の患者に看護師からチラシを手渡しするようにした。 ・相談員6人中4人が国立がん研究センターの相談員研修受講済み ・認定がん専門相談員1名 ・相談員向けの研修会に参加 ・がん情報サービスや、高知県発行の冊子を取りそろえ、患者・家族が必要時に持ち帰れるよう整備 ・高知がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会に参加。 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん相談支援センターを自発的に利用する方は少ない。 ・がんサロン参加者が少ない <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん相談支援センターについて外来看護師から声掛け、チラシを手渡しする取り組みを継続する。 ・がんサロン参加者を増やす活動を継続
	<p>治療と仕事の両立支援を進める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・両立支援コーディネーター研修修了者5名に増加 ・一部の診療科では、がん診断後の患者にMSWが面談を行い仕事についてもアセスメントしたり必要時情報提供している。 ・アピアランスケアに関する相談に女性専用病棟で対応している。 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両立支援コーディネーター研修を修了したMSWが半数。来年度残り半数修了予定。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MSWに両立支援コーディネーター研修を受講するよう働きかける。

第4期 高知県がん対策推進計画における各関係機関の取組状況

4 基盤分野

拠点病院等
高知赤十字病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2%(R7)	B	向上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
MI比	0.39(2019年値)	0.40(2021年値)	—	0.5以下	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満 C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
DCO	1.1(2019年値)	1.6(2021年値)	—	10%以下	D 数値目標の達成率 70%未満 — 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国がん登録の精度を高めることができる 	<p>がん登録届出体制の整備を推進する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新任医師(研修医含む)、医師事務作業補助者に向けた研修の実施 ・がん登録実務者の育成 ・ホームページへがん登録集計の掲載(2013年予後症例、2023年症例) ・がん登録部会研修会への3月参加予定 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・cTNMの記載漏れがある。 ・医師に向けた研修の継続 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・cTNMの記載について、医師に周知を行い記載がない場合、個々に記載を依頼していく。 ・登録、ケースファインディングの強化 ・がん登録実務者の育成

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

高知県看護協会

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている</p>	<p>在宅療養支援を進める</p>	<p>・病院・施設・地域間をつなぐ看護サービスが提供できる人材の育成</p> <p>① 在宅を支援する看護師育成研修会開催6日・参加人数30名</p> <p>② 在宅を支援する看護師育成研修シンポジウム開催(1月31日開催予定)</p> <p>③ 医療的ケア児等コーディネーター養成研修(1月15日 18名で開催予定)</p> <p>④ 医療的ケア児等支援者養成研修 参加人数23名</p> <p>⑤ 医療的ケア児のための看護技術研修(在宅領域)2回開催参加人数20名</p> <p>⑥ 医療的ケア児等支援者・CDフォローアップ研修(3月開催予定)</p> <p>・各機関と連携した訪問看護師の人材育成体制の推進</p> <p>① 訪問看護就業サポート事業:訪問看護体験受け入れ0名</p> <p>② 訪問看護出向事業:出向受け入れ1名</p> <p>・アドバンスケアプランニングに関する研修</p> <p>①地区支部事例検討会講義「事例から考えるACP」46名</p> <p>②地区支部実践報告会研修「チームで支えるACP」62名</p> <p>・多職種事例検討会</p> <p>がん、高齢者等の事例をもとに看護職、ケアマネージャー、MSW、セラピストなど多職種で在宅療養の支援に向けた事例検討を行っている。</p>	<p>《課題》</p> <p>・がん看護に特化した研修は開催していない。</p> <p>《今後の取組》</p> <p>・様々な機会を通して、がん患者の在宅療養支援について広報していく。</p> <p>・ACPについては、地域一医療機関の看護連携のあり方について検討していく予定である。</p>

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

3 共生分野

高知県看護協会

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	52.6% (R7)	S	向上
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者で役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	73.6% (R7)	B	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる</p>	<p>がんの相談支援を受けられる</p> <p>・がんの相談支援を受け、自分にあつた正しい情報が得られる</p>	<p>・町内会まちの保健室を開催し、地域住民の健康相談に対応している。また、訪問看護についてもリーフレット等を活用して広報している。</p> <p>第1回 5月 6名 ACPについて 第2回 9月 2名 脱水予防等 第3回 11月 参加者なし 第4回 1月 予定：手洗チェック体験</p>	<p>《課題》</p> <p>・町内会へのチラシ配布、公民館へのポスター掲示など、広報している。災害対応等テーマが明確な場合は参加者が多いが、健康相談は参加者が少ない。</p> <p>《今後の取組》</p> <p>・高齢化が進む地域で、健康に関する情報提供ができるよう引き続き取り組んでいく。</p>

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野

高知県総合保健協会

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56) (R3)	男性166.32、女性97.10 (全国平均 男性151.23、女性92.96) (R6)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少
がん種別5年生存率	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	-	向上
年齢調整罹患率	387.2(2019年値)	386.9(2021年値)	A	減少
20歳以上の喫煙率	男性27.0%、女性6.4%	男性27.0%、女性6.4% (R4)	-	男性20%以下、女性5%以下
受動喫煙の機会を有する人の割合	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6%	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6% (R4)	-	家庭(ほぼ毎日)3%以下、職場(月1回以上) 10%以下、飲食店(月1回以上)4.8%以下
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人	男性16.8%、女性9.6%	男性16.8%、女性9.6% (R4)	-	男性15%以下、女性7%以下
運動習慣者の割合	20~64歳 男性25.5、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7%	20~64歳 男性25.5、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7% (R4)	-	20~64歳 男性30%以上、女性30%以上 65歳以上 男性62%以上、女性50%以上
野菜摂取量(1日当たり)	274g	274g (R4)	-	350g以上
肝炎検査の受検者数	B型1,477人、C型1,471人	B型1,415人、C型1,397人 (R6)	B	増加
肝炎陽性者の精密検査受診率	77.8%	77.8%(R4)	-	90%以上
HPVワクチン接種率	29.9%(R3)	82.7%(R6)※	A	全国平均を超える

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

※令和4年度以降については、令和元年10月3日付け「ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種実施状況に関する調査について(依頼)」(厚生労働省健康局健康課事務連絡)の調査より算出

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんの死亡率が減少する</p> <p>■がんの罹患率が減少する</p> <p>・危険因子となる生活習慣が改善している</p> <p>・がんの原因となる感染症が抑制されている</p>	<p>学校教育におけるがん教育を進める</p>	<p>令和7年度がん教育(出前授業)</p> <p>がんの正しい知識といのちの大切さを直接学ぶ機会として、医師によるがん教育を国立中学校1校で、また、医師と子宮頸がん経験者によるがん教育を、専門学校1校と私立高校1校で実施した。</p>	<p>《課題》</p> <p>学校にがん教育の時間を確保してもらうこと。</p> <p>《今後の取組》</p> <p>継続して高知県がん教育推進協議会と連携しながら、国立及び私立の学校を中心にがん教育を実施する。</p>

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野

高知県総合保健協会

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)【再掲】	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56) (R3)	男性166.32、女性97.10 (全国平均 男性151.23、女性92.96) (R6)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少
がん種別5年生存率【再掲】	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	-	向上
年齢調整罹患率【再掲】	387.2(2019年値)	386.9(2021年値)	A	減少
がん検診の受診率 (40~50歳代)	肺59.2%、胃41.6%、大腸46.6%、 子宮頸47.4%、乳51.7%	肺61.4%、胃40.1%、大腸49.1%、 子宮頸50.1%、乳52.4%(R6)	D	60%以上
がん検診の精密検査受診率 (地域)	肺90.4%、胃91.7%、大腸84.6%、 子宮頸80.0%、乳96.6%(R2)	肺92.3%、胃90.7%、大腸84.3%、 子宮頸77.9%、乳93.6%(R4)	B	90%以上
がん検診の精密検査受診率 (地域・職域)	肺71.4%、胃62.0%、大腸56.6%、 子宮頸57.7%、乳89.9%	肺65.0%、胃61.8%、大腸58.8%、 子宮頸62.1%、乳93.1%(R6)	D	90%以上
市町村チェックリスト実施率	肺90.9%、胃90.5%、大腸89.4%、 子宮頸90.3%、乳90.9%	肺88.7%、胃88.4%、大腸88.3%、 子宮頸89.4%、乳88.8%(R6)	B	向上
がん発見率	肺0.04%、胃0.05%、大腸0.11%、 子宮頸0.02%、乳0.29%	肺0.04%、胃0.06%、大腸0.12%、 子宮頸0.02%、乳0.35%(R6)	B	向上
陽性反応の集中度	肺3.11%、胃2.02%、大腸2.76%、 子宮頸1.9%、乳7.1%	肺2.99%、胃2.9%、大腸2.72%、 子宮頸1.6%、乳9.2%(R6)	D	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんの死亡率が減少する</p> <p>■がんの罹患率が減少する</p> <p>・科学的かつ効率的な受診勧奨を行い、検診受診率が増加している</p> <p>・精度の高いがん検診が実施されている</p>	がん検診の受診を推進する	<p>《広報》</p> <ul style="list-style-type: none"> 当協会のホームページや広報誌でがん検診の意義・重要性の啓発を実施 若い世代をターゲットとした「子宮頸がん検診」の受診促進CMを、9月～10月にかけ民放3局で放送した。 <p>《イベント》</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知ファイトイングツグスが開催するイベント「ピンクリボンディ」に参加し、乳がん視触診モデルを使ったプレストアウェアネスの推進や冊子の配布などにより、乳がんの早期発見・早期治療を呼び掛けた。 土佐ほかほか温泉が開催するイベント「ピンクリボンの湯」に参加し、乳がん視触診モデルを使ったプレストアウェアネスの推進や冊子の配布などにより、乳がんの早期発見・早期治療を呼び掛けた。 リレー・フォー・ライフ・ジャパン高知にて乳がんの無料検診を実施した。 <p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> 龍馬デザイン・ビューティ専門学校と連携し、がん検診の受診を促進するイラストを検診車にペイントし、高知県下でがん検診の受診をPRLした。 県下市町村にweb予約システムを推進し5市町に導入(計8市町)。令和8年度は5市町村に導入予定。 健診受診後に事業所を訪問し、がんに対する正しい知識の普及と検診受診を呼び掛けるセミナーを2回開催した。 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 若年層への効果的な子宮頸がん検診受診勧奨 地域がん検診の1カ所当たりの受診者数減少 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き県内市町村へのweb予約システムの導入を進め、若年者への受診勧奨を強化する他、健診のデジタル化にも取り組み、近隣市町村との広域検診の実施や職域健診との合同実施などにより、受診機会の確保を図りながら受診率の向上を目指していく。
	がん検診の精度向上を進める	<p>・職域がん検診の要精検対象者に送付する通知書の内容を刷新し、精検受診の重要性を訴える他、精密検査医療機関を探しやすくするため、こうちがんサポネットを二次元コードにて掲載するなど、精検受診率の向上に取り組んだ。</p> <p>・健診受診後のフォローアップとして、希望する事業所に健診結果の分析情報を提供。事業所側が把握できない各がん検診結果について「要精密検査」の通知を受けたときは必ず医療機関を受診するよう従業員向けに周知を依頼した。</p> <p>【令和6年度職域(保健協会実施分)がん検診精検受診率(7年11月集計)】</p> <p>肺77.0%(前年比↑4.5%)、胃61.7%(前年比↑3.7%)、大腸56.7%(前年比↑6.0%)、乳91.5%(前年比↑2.6%)、子宮80.6%(前年比↑8.8%)</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 職域健診において、肺がん(胸部)以外のがん検診は、労安法の法定外項目であることから、本人の同意なく事業所に対して検診結果の提供ができないため、事業所と一体となった精検の受診勧奨が難しい。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 検診時に連絡先登録に同意をもらい、要精密検査の受診勧奨を直接行えるような仕組みを作る。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

高知県訪問看護連絡協議会

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている</p>	在宅療養支援を進める	<p>・訪問看護スタートアップ研修 在宅がん緩和ケアの実践:開催日7月17日, 12月10日:16人 在宅看取りを支えるエンドオブライフケア:開催日7月17日,12月10日:19人</p> <p>在宅版エルネック研修:開催日9月18日, 10月8日, 11月13日, 11月27日, 12月11日の5日間, 参加者12名</p> <p>ACP推進会議:在宅ワーキンググループにてACP指針の検討会開催</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2040年に向けて高齢多死社会に向かっていく中、益々地域での暮らしを支える為に在宅療養の推進が期待されている。がん末期や看取り支援は医療保険での訪問看護が主になるが、最近では医療保険の過剰請求などマイナスな面ばかりフォーカスされている。訪問看護の質の向上や制度の理解を深める為に今後も訪問看護連絡協議会、看護協会と協働し体制強化をしていく必要がある。 ・2024年には病院でも入院費の通則としてACPの取り組みが要件化された。その為、今後病院と地域をつなぐコーディネーターとしての役割が訪問看護には期待される。しかし、病院→在宅へACPをつなぐ支援はまだまだ課題であり、ACPが繋がらないことにより望まない救急搬送なども報告されており、医療機関と在宅での連携の強化は喫緊の課題である。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の課題を踏まえて、訪問看護連絡協議会、看護協会と協働し基盤を整えていく ・ACPIに関しては訪問看護での統一したツールや、訪問看護でのACPの指針を検討していく

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

高知県理学療法士協会

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている</p>	<p>診断時からの適切な緩和ケアが受けられる</p>	<p>・令和8年度以降に実施するリハビリテーションに関する更なる調査や広報活動の検討、がんリハビリテーションの問題点の抽出作業</p> <p>・当協会ホームページで一般向け広報実施</p>	<p>《課題》</p> <p>・調査はどの程度の頻度で実施すべきか検討が必要である。</p> <p>《今後の取組》</p> <p>・がんのリハビリテーションの現状調査を踏まえて、問題点を検討し、解決を図るための活動を実施する。</p>

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上	S 数値目標の達成率 110%以上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	-	増加	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	-	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					- 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている</p>	<p>診断時からの適切な緩和ケアが受けられる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年12月現在の訪問診療医療機関は27病院、47診療所で増加している。 ・令和7年7月時点での禁煙外来開設医療機関数は96である。 ・各地域の在宅医療・介護連携推進事業への会員参加を継続する。 ・高知県医師会は、厚生労働省等からの関係する通知や医師会が実施するがんに関連する研修会案内を高知県医師会報やホームページを通して会員に周知している。 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん診療はがん診療連携拠点病院等において個々の患者さんになされていると推察するが、がん罹患時からの包括的な支援体制が構築されているにも関わらず、周知や利用が進んでいない。 ・診断時から適切な緩和ケアを受けられるとあるが、緩和ケアという言葉は末期というイメージが一般の人に定着しておりその払拭が困難と思われるので、緩和ケアという言葉にこだわらず、高知県は全国に先駆けて独自に総合ケア(案)という新たな言葉に変更して診断時からの包括的ケアを推進するのはどうか。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の取組を継続。 ・令和8年度高知県医師会県民健康フォーラムでがんについて取り上げること検討する。 ・県からがんサポネットやがんについての広報チラシ等の周知依頼文書を高知県医師会に発出していただければ、HPや医師会報を通じて会員や県民に広報する。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

3 共生分野

高知県医師会

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	52.6% (R7)	S	向上
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者で役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	73.6% (R7)	B	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる</p>	<p>がんの相談支援を受けることができ、自分にあった正しい情報が得られる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県医師会は、厚生労働省等からの関係する通知や研修会案内を高知県医師会報やホームページを通して会員や県民に周知・広報している。 ・高知県医師会は高知県がんフォーラムに協賛し、フォーラムの周知に務めている。 ・がん診療連携拠点病院からの市民公開講座をHPに掲載。 ・子ども予防接種週間にてHBワクチン、HPVワクチンを含むワクチン講演会を開催した。 ・県内のHPVワクチン接種対象女生徒全員に、学校定期健診時に学校医から名刺サイズの資料を手渡し接種啓発を行った。 ・HPVワクチン集団接種を令和8年3月20日(金 春分の日)に高知医療センターで実施する。 ・禁煙週間(5月31日～6月6日)に合わせて高知城をイエローグリーンにライトアップして啓発を行った。 ・第91回赤ちゃん会(令和7年4月、高知会場・幡多会場)にて禁煙指導を実施した。 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員および県民が、がんの予防、がん患者さんへの医療や生活および包括的な支援についての理解が深まっていない。 ・広報手段を従来の新聞やTVにSNSを加える必要があると思われるがハードルは高い。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県医師会は県民健康フォーラムを毎年開催している。令和8年度は、このめざす姿をテーマとして取りあげることを検討する。

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上	S 数値目標の達成率 110%以上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている</p>	診断時からの適切な緩和ケアが受けられる	<ul style="list-style-type: none"> 令和8年2月22日に全国共通がん医科歯科連携講習会を開催予定 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度より開催しているが、最初の2、3年で約半数(217名)の先生が受講して登録歯科医師となっている。令和2年度から第2版となっているが、受講者数は毎年10人程度となっている。 <p>《今後の取り組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> 受講者数が年々減少しているため、講演内容等の変更・見直しを検討する。 令和7年度以降の講習では、第3版の受講となる。
	在宅療養支援を進める	<ul style="list-style-type: none"> 在宅歯科連携室中央(総合あんしんセンター内)、幡多在宅歯科連携室(四万十市立市民病院内)、東部在宅歯科連携室(安芸市総合社会福祉センター内)で稼働中。 3窓口の稼働総数のうち、4割ほどの方が歯科訪問診療を利用している。利用者数は、中央窓口は令和6年度77件、7年度は55件(11月現在)、幡多窓口は令和6年度115件、7年度は98件(11月現在)、東部は令和6年度35件、令和7年度は40件(11月現在)。 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 他のサービスの準備が大変なので、歯科に関しては口腔内の状態が悪くなってからの依頼が多い。 <p>《今後の取り組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> 口腔内の状況が悪くなる前に、できればもう少し早い段階で介入できるよう関係者と相談することを検討する。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

3 共生分野

高知県歯科医師会

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2%(R7)	B	向上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	52.6% (R7)	S	向上
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者で役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	73.6% (R7)	B	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる</p>	<p>がんの相談支援を受けられることができ、自分にあった正しい情報が得られる</p>	<p>・四師会や毎月開催する四師会情報交換会で意見、情報等の交換・共有</p> <p>・他の医療関係団体等の協議会、研修会への参加。チラシ等による研修会開催の周知をしている。</p>	<p>《課題》</p> <p>・まだまだ、医科歯科の連携が十分でないと思われるため、今後は薬科・看護との連携も強化していく必要がある。他医療関係団体への研修会の参加も少ないように思われる。</p> <p>《今後の取り組み》</p> <p>・がん診療を行う病院・関連医療機関との連携を密にしてい。研修会開催の周知強化。</p>

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

高知県薬剤師会

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている</p>	<p>診断時からの適切な緩和ケアが受けられる</p> <p>在宅療養支援を進める</p>	<p>・高知版地域包括ケアシステムにおいて、薬剤師・薬局が医療機関の薬剤師や多職種と連携して、在宅患者の服薬支援を強化する体制を構築</p> <p>・在宅医療に携わる薬剤師の養成とスキルアップを地域ごとに実施</p> <p>県からの委託を受け、在宅医療提供体制強化に向けて、在宅訪問ができる薬剤師の養成のための座学研修とともに、県下6支部に配置した在宅訪問指導薬剤師による同行訪問研修を実施し在宅訪問薬剤師の裾野の拡大を図ってきた。また、麻薬の取扱いや医療的ケア児への対応等のスキルの向上のための研修会も併せて実施。この結果、在宅訪問の実績がある薬局数が、平成28年の95/371薬局(25.6%)から、令和5年には215/392薬局(54.8%)に増加。</p> <p>・高知型薬局連携モデルとして、広域の薬局が連携して補い合う体制を整備</p> <p>・地域に在宅訪問指導薬剤師を設置し、在宅対応可能な薬剤師を養成</p> <p>・患者の入・退院時における薬業連携を開局薬剤師、病院薬剤師合同研修会等を開催し推進</p> <p>・訪問薬剤管理指導対応可能薬局のリストを更新し、多職種連携を推進</p> <p>・薬局薬剤師と病院薬剤師が連携ツールを活用することで、がん患者を含む患者に入退院時、在宅時の服薬状況の把握や薬学的知見に基づく指導を実施</p> <p>・多職種との連携定着を図った(医師、歯科医師、看護師、ケアマネ等との意見交換)</p> <p>・高知県薬剤師会在宅連携室の運営</p> <p>【開催及び参加予定】</p> <p>・第5回高知市病院・薬局薬剤師連携の会 (R7.5.11(日)受講者65名) 「病院におけるポリファーマシー対策と薬局薬剤師に期待すること」 「調剤薬局から始めるポリファーマシー対策と保険者との連携によるポリファーマシーの取組みと今後の薬剤師の役割」</p> <p>・高知県薬剤師会高知支部学術講演会～認知症診療連携を考える～(高岡郡医師会共催) (R7.11.11(火)受講者14名) 「認知症診療におけるパラダイムシフト」等</p> <p>・がん薬物療法部会講演会 高知がん診療連携協議会がん薬物療法部会主催 高知県薬剤師会後援 高知県病院薬剤師会後援 (R7.8.22(金) 受講者46名)「胃がん薬物療法の最新の知見」等 (R7.11.8(土) 受講者51名)「がん診療提供体制のあり方に関する検討会の経過報告」等 (R7.12.15(月) 受講者23名)「がん薬物療法における多職種連携」等</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬業連携のための情報ツールの活用 ・多職種連携の推進 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅患者に関する課題の整理と対策についての県レベルでの検討会 ・高知県(薬務衛生課)、高知県訪問看護ステーション連絡協議会、高知県介護支援、専門員連絡協議会、高知県ホームヘルパー連絡協議会等の代表者から在宅患者への対応での課題等を聞き取るとともに、解決策について協議。また、ホームページの改修の内容や、啓発用パンフ、事前・事後アンケート調査の内容についても協議。なお、検討会開催にあたり、上記他職種団体を通じて、アンケート調査(課題の掘り起こし等)を実施する予定。 ・モデル支部(地域)単位での取組に関する検討会 都市部である高知市支部(一定地域内)と中山間地域を抱える2支部をモデル支部として選定し、上記①の検討結果を踏まえ、当会の支部役員が上記団体の下部組織や管轄の保健所、市町村とともに、地域の特性を加味しながら、課題解決を図るための多職種連携体制構築に向けた検討を進め、可能な支部(地域)から実践する。なお、支部の検討会には、県薬役員(事業責任者等)が対面又はオンライン参加する。 ・報告会の開催 モデル支部における地域課題を解決するための対策の検討状況や、実際の取組事例を共有するための、多職種による報告会を開催する。(次年度の横展開を踏まえ、本年度に事業を実施していない支部役員他、他職種の職能団体を通じて、広く関係職種の参加を募る) また、併せて、当会の在宅連携室の機能やホームページの利活用について広報を行う。 ・当会のホームページに在宅訪問薬剤師・薬局に係るプラットフォームを新設及び広報 ・当会の在宅連携室機能の見える化 ・県民や他職種向けのワンストップ相談窓口の設置 ・在宅訪問が可能な薬局の紹介やマッチング ・在宅訪問薬局の見える化 ・多職種連携ツール(「薬局へのお薬相談票」など)の紹介 ・市町村や多職種向けの啓発パンフを作成し、職能団体等を通じて配布する ・薬業連携の推進(あんしんネット、トレーシングレポートの活用)を図る。 ・薬業連携に関する研修会の開催 (R8.5月予定) ・在宅訪問薬剤師の育成及びスキルアップ研修会 (令和8年2月開催予定) (在宅訪問薬剤師養成研修 ICTリテラシー研修 スキルアップ研修)

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

3 共生分野

高知県薬剤師会

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	67.2% (R7)	B	向上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	52.6% (R7)	S	向上
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者で役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	73.6% (R7)	B	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる</p>	<p>がんの相談支援を受けことができ、自分にあった正しい情報が得られる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四師会や毎月開催する四師会情報交換会で意見、情報等の交換・共有 ・他の医療関係団体等の協議会、研修会への参加 ・高知家健康づくり支援薬局の整備(高知県内314件:令和6年10月現在) 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬業及び多職種連携の推進 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携の推進を図る(情報ツール等活用、スキルアップ研修、多職種合同の研修会参加)。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

高知県介護支援専門員連絡協議会

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2%(R5)	67.2%(R7)	B	向上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関(R5)	11機関(R5)	—	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満 C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
緩和ケアの実施件数	1,386人(R2年9月)	2,151人(R5年10月)	—	増加	D 数値目標の達成率 70%未満 — 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <p>・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている</p>	在宅療養支援を進める	<p>・安芸圏域では看取り期に入った方の自宅での生活についてアドバイスした。</p> <p>・県民からの相談を広く受け付けることができる、総合相談窓口(仮称)の立ち上げ検討、申請を行った。(R8年度開設予定)</p> <p>在宅緩和ケアに対応できる介護支援専門員の養成を目指したが、研修等の企画を具体化できなかったが、県内会議、委員会等への理事派遣等、職能団体として参画した。</p> <p>また、理事を中心に「人生の最終段階における医療・ケア検討会議」や薬剤師会、地域の在宅医療の体制整備に向けた調査・連携支援事業のグループワーク研修において、医療と介護と連携した在宅緩和ケアの取組みに参画した。</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県全体としての取り組みが実施できていない。 ・看取り期に入った方への対応実績が少なく、介護支援専門員として受診時や自宅での生活に関する十分なアドバイスが提供できていない。 ・免疫力低下のある患者に対し、介護支援専門員が介入することへの認知が十分でないため、介護支援専門員の役割や介入についての啓発を要する。 ・がんを罹患している低所得層への個別対応として、生活困窮者の救済取組みを要する。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談窓口(R8年度開設予定)を開設し、県民からの相談を広く受け付ける。相談窓口では、介護支援専門員に対して、医療連携の相談助言をおこない、医療と介護の連携体制を構築していくことでがん患者さんへのサポートに取り組んでいく。 ・課題解決に向けて、県下がん患者の会やがんの拠点病院、在宅療養者に向けた取組みの広報を行う。 ・介護支援専門員の研修体形が令和9年度より大きく変わっていく。そのため令和8年度は、癌末期(緩和ケア)についての研修を計画していく。 ・高知県訪問看護総合支援センターとも連携しながら、高知県介護支援専門員連絡協議会として医療・介護の連携を図り、在宅緩和ケアの取組みを行っていく。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

高知県ホームヘルパー連絡協議会

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2%(R5)	67.2%(R7)	B	向上	S 数値目標の達成率 110%以上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関(R5)	11機関(R5)	—	増加	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
緩和ケアの実施件数	1,386人(R2年9月)	2,151人(R5年10月)	—	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和7年度の取組状況	課題と今後の取組
<p>■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている 	在宅療養支援を進める	<ul style="list-style-type: none"> ・がんについてのeラーニングを会員は無料で聴講できるようにしている 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんや、終末期等の方へのヘルプに関わっている事業所がどの程度あるかが把握できておらず、ニーズが不明である。 ・ヘルパー不足で研修への参加が困難な事業所が増えている。 <p>《今後の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この1月～アンケート調査を予定しており、課題にあげているヘルプの関わりについて把握できるようニーズの調査をしていく予定である。 ・eラーニングを継続